

令和6年度 市民意識調査

# 北九州市政に期待すること

令和6年12月

北九州市



# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査の実施	2
4	回収結果	3
II	調査結果	4
1	回答者の構成	4
2	調査の結果	5
(1)	北九州市政に期待すること	5
(2)	15取組の中で期待する具体的施策	8
①	物流ネットワークの整備	8
②	就業や起業の支援	11
③	新しい産業の振興	14
④	企業の力を高める	17
⑤	まちの魅力を高める	20
⑥	住まい環境の充実	23
⑦	教育環境の充実	26
⑧	文化芸術・スポーツの振興	29
⑨	観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり	32
⑩	環境施策の充実	35
⑪	防災や防犯のまちづくり	38
⑫	子育て支援の推進	41
⑬	多様性を認め合うまちづくり	44
⑭	保健、医療、介護、福祉などの充実	47
⑮	地域コミュニティの活性化	50
(3)	北九州市の最近のイメージについて	53
3	まとめ	58
資料編		63
1	クロス集計表	63
2	調査票	81



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般に対する関心・ニーズなどを把握するために毎年実施し、今後の市政運営の参考としている。

今後のまちづくりの方向性を示す“北九州市・新ビジョン”（北九州市基本構想・基本計画）の中から「北九州市政に期待すること」として掲げている 15 項目についての評価を調査する。

## 2 調査の設計

### (1) 調査票

この調査は、調査票送付、郵送回答及びWeb回答の併用で実施するためできるだけ整理した以下の設問で構成した。

調査項目は、下記に示す 15 項目の中から、北九州市政に期待する取組を 3 つ選び、選択した取組の中でさらに期待する内容を質問した。

併せて、北九州市の最近のイメージも質問した。

### 【今年度調査項目】

#### ① 北九州市政に期待すること 15 項目

- 物流ネットワークの整備
- 就業や起業の支援
- 新しい産業の振興
- 企業の力を高める
- まちの魅力を高める
- 住まい環境の充実
- 教育環境の充実
- 文化芸術・スポーツの振興
- 観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり
- 環境施策の充実
- 防災や防犯のまちづくり
- 子育て支援の推進
- 多様性を認め合うまちづくり
- 保健、医療、介護、福祉などの充実
- 地域コミュニティの活性化

#### ② 北九州市の最近のイメージ

## (2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 18 歳以上の男女 3,000 人

[標本抽出]

令和 6 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳（18 歳以上 784,657 人）をもとに 3,000 人を等間隔抽出

行政区別の設定標本数

行政区	居住人口	抽出調査対象数	(構成比)
門司区	79,807 人	320 人	(0.4%)
小倉北区	153,970 人	569 人	(0.4%)
小倉南区	172,813 人	653 人	(0.4%)
若松区	67,550 人	263 人	(0.4%)
八幡東区	54,589 人	197 人	(0.4%)
八幡西区	208,478 人	816 人	(0.4%)
戸畑区	47,450 人	182 人	(0.4%)
計	784,657 人	3,000 人	(0.4%)

(注 1) 居住人口は 18 歳以上人口で抽出リード件数である。

(注 2) 構成比の単位未満は四捨五入で表示したため、計と各区の合計は必ずしも一致しない場合がある。

## (3) 調査方法

調査票送付、郵送回答及び Web 回答の併用

## 3 調査の実施

この調査は、北九州市総務市民局広聴課と総務市民局安全・安心推進課、総務市民局消費生活センターが主体となり実施したものである。

### (1) 実査

調査開始 令和 6 年 7 月 12 日

回答期限 令和 6 年 7 月 26 日

### (2) 集計・分析

集計、分析・コメントは株式会社東京商工リサーチが実施した。

※数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

※今回の調査における年齢別の分析では、Z 世代（15～29 歳）の傾向を明らかにすることも主な目的としている。したがって、サンプル数が少なくても、Z 世代の特徴と思われるよ

うな差があれば、コメントするようにしている。今回の調査で指摘されるような傾向があるかどうかは、今後の調査でも継続して確認していくことにしている。

なお、その他の属性（性別、行政区別、居住年数別、世帯構成別）において、サンプル数が少ない（目安として20人未満）ものについては、サンプル誤差が大きくなることから図表に示すのみとする。

#### 4 回収結果

発送標本数3,000票のうち、有効回収数は845票、有効回収率は28.2%であった。（昨年度は有効回収数1,172票、有効回収率は39.1%）なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

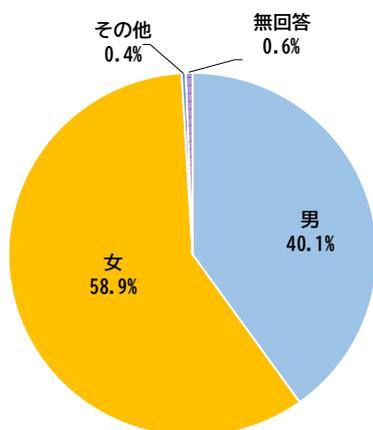
行政区別回収状況

区 分	抽出調査対象数	有 効 回 収 数	回 収 率
門 司 区	320 人	93 人	29.0%
小倉北区	569 人	155 人	27.2%
小倉南区	653 人	179 人	27.4%
若 松 区	263 人	70 人	26.6%
八幡東区	197 人	55 人	27.9%
八幡西区	816 人	240 人	29.4%
戸 畑 区	182 人	47 人	25.8%
無回答		6 人	
計	3,000 人	845 人	28.2%

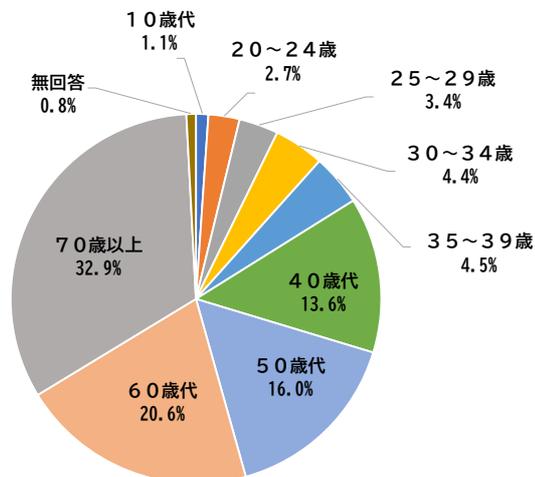
## Ⅱ 調査結果

### 1 回答者の構成 (N=845人)

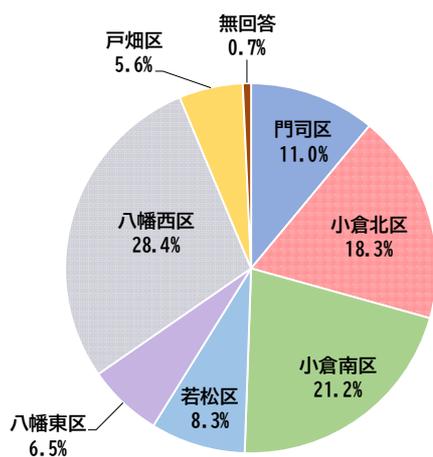
【性別】



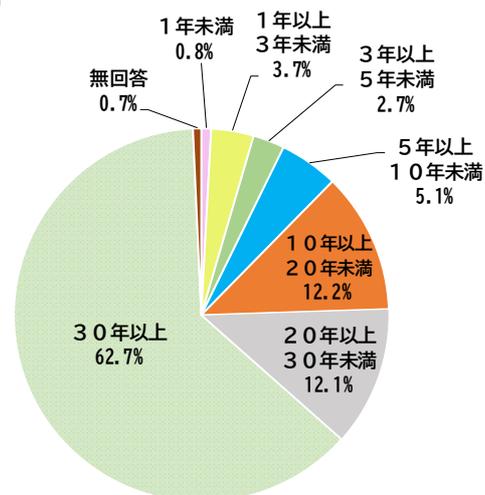
【年齢】



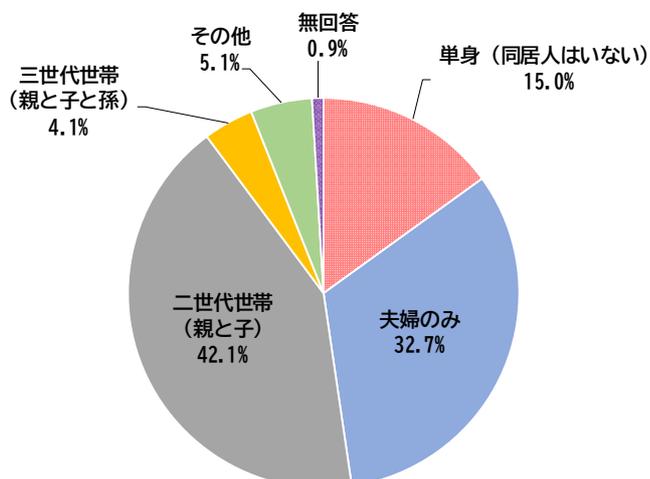
【行政区】



【居住年数】



【世帯構成】



## 2 調査の結果

### (1) 北九州市政に期待すること

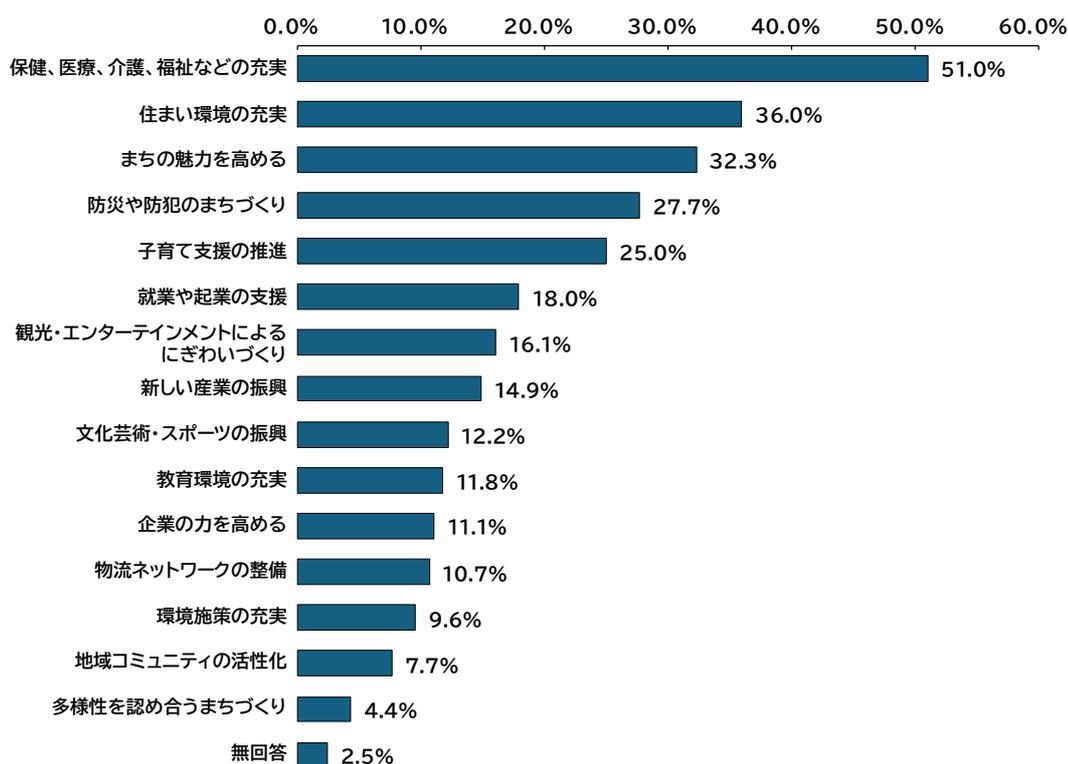
問1 北九州市が行う取組で、「特に期待すること」を次の15項目から「3つ」選び、番号を○で囲んでください。

N=845人

項目	回答数	割合
1 物流ネットワークの整備	90	10.7%
2 就業や起業の支援	152	18.0%
3 新しい産業の振興	126	14.9%
4 企業の力を高める	94	11.1%
5 まちの魅力を高める	273	32.3%
6 住まい環境の充実	304	36.0%
7 教育環境の充実	100	11.8%
8 文化芸術・スポーツの振興	103	12.2%
9 観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり	136	16.1%
10 環境施策の充実	81	9.6%
11 防災や防犯のまちづくり	234	27.7%
12 子育て支援の推進	211	25.0%
13 多様性を認め合うまちづくり	37	4.4%
14 保健、医療、介護、福祉などの充実	431	51.0%
15 地域コミュニティの活性化	65	7.7%
無回答	21	2.5%

#### ◆ 北九州市が行う取組で、特に期待することについて

1位 保健、医療、介護、福祉などの充実	51.0%
2位 住まい環境の充実	36.0%
3位 まちの魅力を高める	32.3%



# 問1 北九州市政に期待すること

(単位：%)

		サンプル数	物流ネットワークの整備	就業や起業の支援	新しい産業の振興	企業の力を高める	まちの魅力を高める	住まい環境の充実	教育環境の充実	文化芸術・スポーツの振興	観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり	環境施策の充実	防災や防犯のまちづくり	子育て支援の推進	多様性を認め合うまちづくり	保健、医療、介護、福祉などの充実	地域コミュニティの活性化	無回答
全体		845	10.7	18.0	14.9	11.1	32.3	36.0	11.8	12.2	16.1	9.6	27.7	25.0	4.4	51.0	7.7	2.5
性別	男	339	14.7	17.7	16.8	15.0	31.9	34.5	12.7	12.4	17.7	10.0	28.0	20.6	2.9	47.5	6.8	2.7
	女	498	8.0	18.3	13.9	8.4	32.7	37.3	11.4	12.0	15.3	8.8	27.7	27.7	5.4	53.4	8.2	2.0
	その他	3	0.0	<b>33.3</b>	0.0	0.0	<b>66.7</b>	0.0	0.0	<b>33.3</b>	0.0	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	0.0	<b>66.7</b>	0.0	0.0
年齢別	10歳代	9	0.0	<b>55.6</b>	0.0	11.1	22.2	<b>44.4</b>	<b>22.2</b>	11.1	<b>22.2</b>	0.0	11.1	<b>44.4</b>	<b>11.1</b>	44.4	0.0	0.0
	20～24歳	23	4.3	<b>34.8</b>	8.7	13.0	30.4	26.1	13.0	<b>30.4</b>	<b>34.8</b>	4.3	21.7	26.1	<b>21.7</b>	30.4	0.0	0.0
	25～29歳	29	10.3	20.7	6.9	13.8	34.5	31.0	13.8	<b>17.2</b>	<b>24.1</b>	6.9	24.1	<b>41.4</b>	<b>13.8</b>	31.0	3.4	0.0
	30～34歳	37	10.8	16.2	5.4	8.1	24.3	37.8	<b>18.9</b>	8.1	16.2	8.1	29.7	<b>67.6</b>	0.0	37.8	2.7	0.0
	35～39歳	38	<b>15.8</b>	21.1	5.3	13.2	31.6	21.1	<b>18.4</b>	15.8	18.4	7.9	31.6	<b>52.6</b>	2.6	34.2	5.3	0.0
	40歳代	115	13.9	20.9	14.8	13.0	34.8	33.0	16.5	<b>17.4</b>	20.0	5.2	21.7	<b>39.1</b>	4.3	38.3	6.1	0.0
	50歳代	135	14.1	<b>26.7</b>	14.8	15.6	<b>40.0</b>	37.8	13.3	12.6	20.7	5.9	27.4	8.1	3.0	45.9	6.7	1.5
	60歳代	174	9.8	16.1	16.7	7.5	29.3	38.5	12.1	10.3	18.4	9.8	28.2	23.6	3.4	<b>60.3</b>	5.2	1.7
	70歳以上	278	8.3	11.2	18.7	10.1	31.3	38.1	6.8	9.4	8.3	13.7	30.9	15.8	4.0	<b>61.2</b>	12.6	5.0
行政区別	門司区	93	12.9	19.4	<b>23.7</b>	15.1	34.4	37.6	6.5	11.8	17.2	6.5	28.0	19.4	1.1	52.7	6.5	1.1
	小倉北区	155	11.0	18.7	9.7	11.6	30.3	32.3	13.5	16.1	17.4	7.7	<b>32.9</b>	25.2	6.5	51.6	6.5	1.3
	小倉南区	179	13.4	15.1	16.2	10.6	31.3	38.5	12.3	8.9	20.1	8.4	29.6	23.5	5.0	50.3	6.1	2.8
	若松区	70	10.0	20.0	14.3	10.0	31.4	<b>44.3</b>	10.0	1.4	11.4	10.0	31.4	25.7	4.3	51.4	11.4	2.9
	八幡東区	55	5.5	16.4	14.5	10.9	25.5	36.4	10.9	<b>18.2</b>	12.7	<b>16.4</b>	27.3	29.1	3.6	49.1	<b>12.7</b>	3.6
	八幡西区	240	8.8	20.0	15.4	10.0	33.3	33.8	13.3	13.3	14.2	10.0	22.1	27.5	3.8	51.7	8.3	2.9
	戸畑区	47	12.8	14.9	10.6	10.6	<b>44.7</b>	36.2	12.8	17.0	17.0	10.6	29.8	21.3	6.4	46.8	4.3	0.0
居住年数別	1年未満	7	0.0	<b>28.6</b>	0.0	14.3	0.0	<b>42.9</b>	0.0	14.3	<b>28.6</b>	14.3	<b>42.9</b>	14.3	0.0	28.6	<b>14.3</b>	14.3
	3年未満	31	9.7	16.1	6.5	<b>19.4</b>	<b>38.7</b>	32.3	<b>22.6</b>	16.1	<b>22.6</b>	3.2	19.4	<b>35.5</b>	3.2	29.0	0.0	6.5
	5年未満	23	<b>17.4</b>	21.7	17.4	4.3	34.8	26.1	8.7	13.0	17.4	8.7	17.4	<b>34.8</b>	<b>17.4</b>	52.2	4.3	0.0
	10年未満	43	9.3	16.3	11.6	9.3	<b>39.5</b>	32.6	9.3	<b>18.6</b>	18.6	4.7	<b>39.5</b>	<b>32.6</b>	4.7	37.2	2.3	2.3
	20年未満	103	10.7	<b>27.2</b>	11.7	6.8	35.9	30.1	<b>19.4</b>	14.6	15.5	5.8	21.4	<b>34.0</b>	5.8	47.6	8.7	1.0
	30年未満	102	10.8	21.6	12.7	12.7	35.3	34.3	12.7	16.7	<b>26.5</b>	3.9	24.5	27.5	6.9	43.1	5.9	0.0
	30年以上	530	10.8	15.7	17.0	11.5	30.6	38.5	10.2	10.2	13.6	11.7	29.6	21.1	3.2	55.8	8.7	2.6
世帯構成別	単身	127	9.4	13.4	17.3	13.4	35.4	<b>42.5</b>	11.0	7.1	15.7	6.3	29.1	11.0	4.7	50.4	7.1	7.1
	夫婦のみ	276	9.8	13.8	17.4	10.1	33.0	38.0	7.6	11.2	14.5	12.3	28.3	21.4	4.3	<b>56.9</b>	9.8	1.8
	二世帯世帯	356	11.5	<b>23.6</b>	11.2	10.4	30.1	34.0	15.7	14.6	18.0	7.0	27.0	<b>32.6</b>	4.2	47.8	5.9	1.1
	三世帯世帯	35	14.3	20.0	14.3	<b>17.1</b>	<b>40.0</b>	34.3	<b>20.0</b>	0.0	20.0	11.4	22.9	<b>37.1</b>	2.9	42.9	2.9	0.0
	その他	43	9.3	14.0	<b>25.6</b>	11.6	34.9	25.6	4.7	<b>23.3</b>	9.3	<b>16.3</b>	32.6	14.0	7.0	48.8	<b>14.0</b>	2.3

(注) **太字**は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」を除く。)

## 北九州市政に期待すること

### 【全体的傾向】

北九州市が行う取組で、「特に期待すること」としては、「保健、医療、介護、福祉などの充実」が51.0%と最も多い。次いで「住まい環境の充実」(36.0%)、「まちの魅力を高める」(32.3%)、「防災や防犯のまちづくり」(27.7%)、「子育て支援の推進」(25.0%)となっている。

### 【属性別にみた傾向】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものは、「物流ネットワークの整備」、「企業の力を高める」である。
- 女性が男性より5ポイント以上高いものは、「子育て支援の推進」、「保健、医療、介護、福祉などの充実」である。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では、「観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり」、「就業や起業の支援」、「文化芸術・スポーツの振興」、「多様性を認め合うまちづくり」などが、他の年齢層よりも多くなっている。
- 30歳代では、「子育て支援の推進」が5割を超えており、特に、30～34歳では67.6%と多くなっている。
- 60歳代以上では、「保健、医療、介護、福祉などの充実」が6割台と多くなっている。

※Z世代とは、一般的に1990年代半ばから2010年代序盤に生まれた世代といわれており、本市では、15歳～29歳を対象としている。(以下、同様。)

#### 《行政区別にみると》

- 全区において「保健、医療、介護、福祉などの充実」が最も多くなっている。
- 若松区では「住まい環境の充実」が44.3%、戸畑区では「まちの魅力を高める」が44.7%と多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- 3年未満では「まちの魅力を高める」、10年未満では「まちの魅力を高める」と「防災や防犯のまちづくり」が「保健、医療、介護、福祉などの充実」を抜いて、最も多くなっている。
- 3年未満層から20年未満層にかけては、「子育て支援の推進」が3割台と多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- すべての世帯で「保健、医療、介護、福祉などの充実」が最も多くなっている。
- 二世帯世帯、三世帯世帯では「子育て支援の推進」も多くなっている。

※サンプル数が少ない属性(目安として20人未満)の回答が多い属性については、図表に示すのみとする。(以下、同様。)

## (2) 15取組の中で期待する具体的施策

問1で○をした3つの取組のうち、さらに期待する内容を①から⑤の中から「1つ」選び、番号を○で囲んでください。

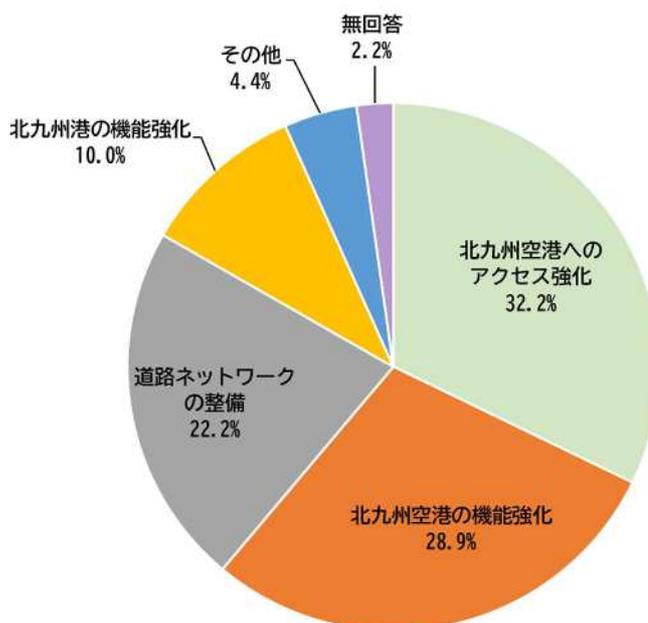
### ① 物流ネットワークの整備

N=90人

項目	回答数	割合
① 道路ネットワークの整備	20	22.2%
② 北九州空港の機能強化	26	28.9%
③ 北九州空港へのアクセス強化	29	32.2%
④ 北九州港の機能強化	9	10.0%
⑤ その他	4	4.4%
無回答	2	2.2%

#### ◆ 物流ネットワークの整備についてさらに期待する内容

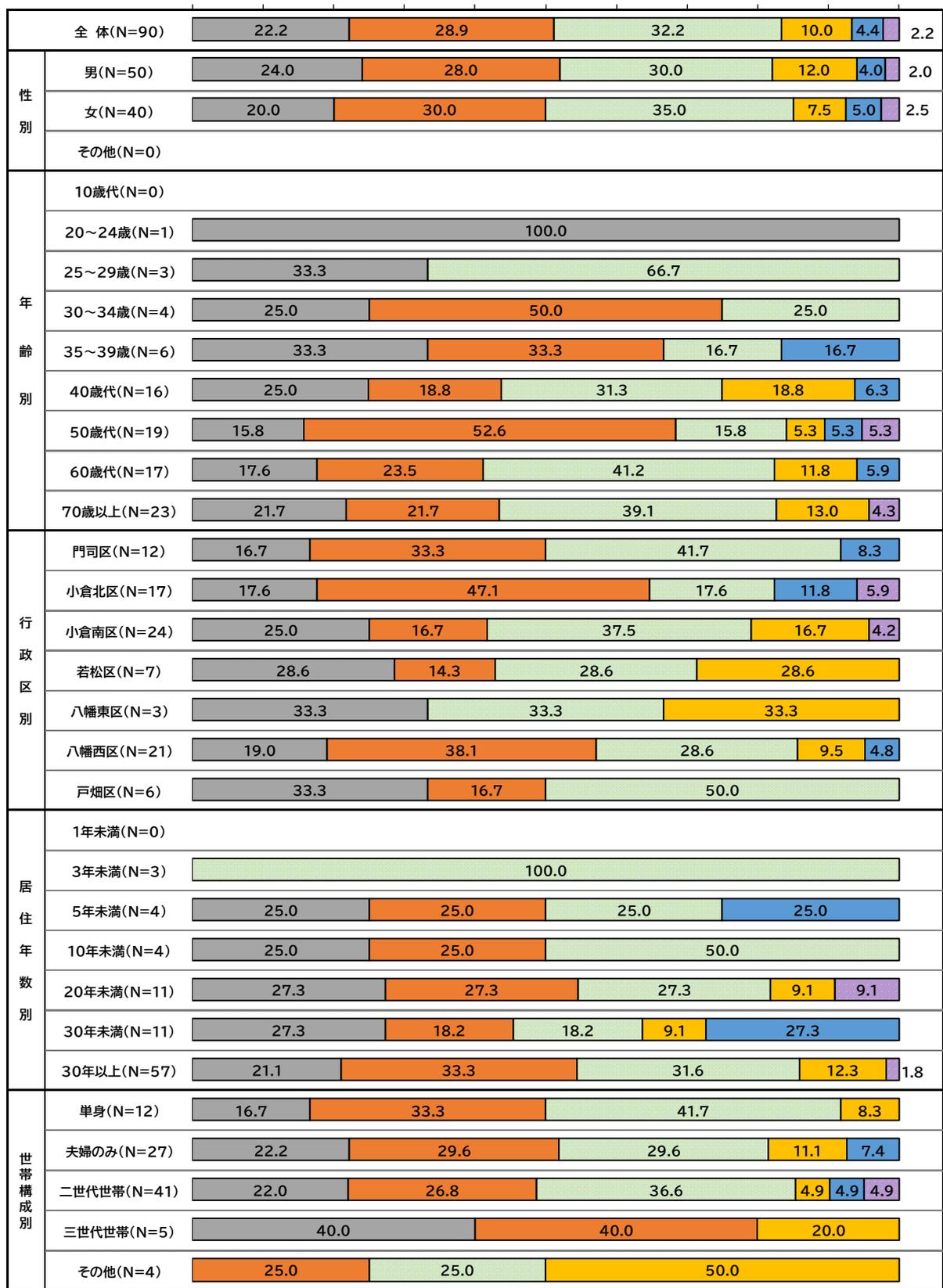
1位 北九州空港へのアクセス強化	32.2%
2位 北九州空港の機能強化	28.9%
3位 道路ネットワークの整備	22.2%



# 問1-1 物流ネットワークの整備

■ 道路ネットワークの整備   
 ■ 北九州空港の機能強化   
 ■ 北九州空港へのアクセス強化   
 ■ 北九州港の機能強化   
 ■ その他   
 ■ 無回答

0%    10%    20%    30%    40%    50%    60%    70%    80%    90%    100%



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 物流ネットワークの整備

### 【 全体的傾向 】

物流ネットワークの整備(15項目中12位)の中では、「北九州空港へのアクセス強化」が32.2%と最も多くなっている。次いで「北九州空港の機能強化」(28.9%)、「道路ネットワークの整備」(22.2%)となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「北九州空港へのアクセス強化」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では、「北九州空港へのアクセス強化」と「道路ネットワークの整備」の2つが多くなっているが、他の年齢層で多い「北九州空港の機能強化」はあげられていない。

#### 《行政区別、居住年数別、世帯構成別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

### 【 その他の内容 】

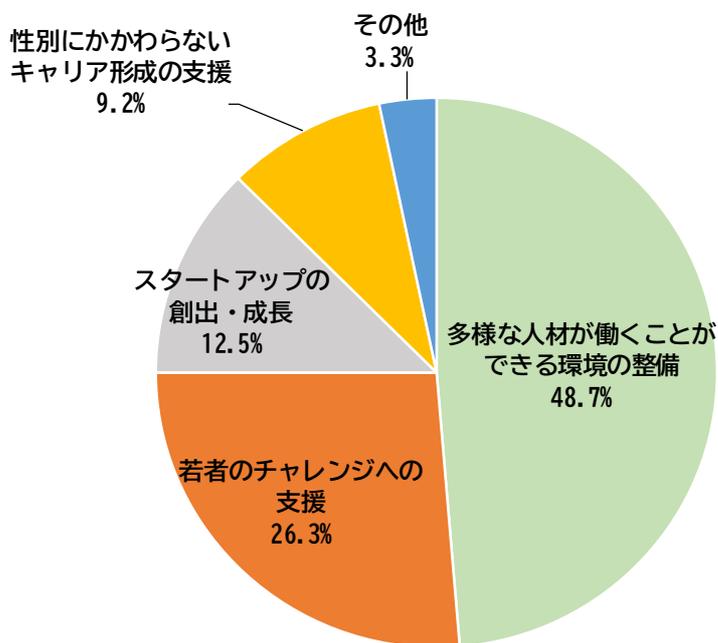
- ・ 第2関門橋の早期完成
- ・ 沖縄・北九州便(北九州空港から)定期便の復活

## ② 就業や起業の支援

N=152人

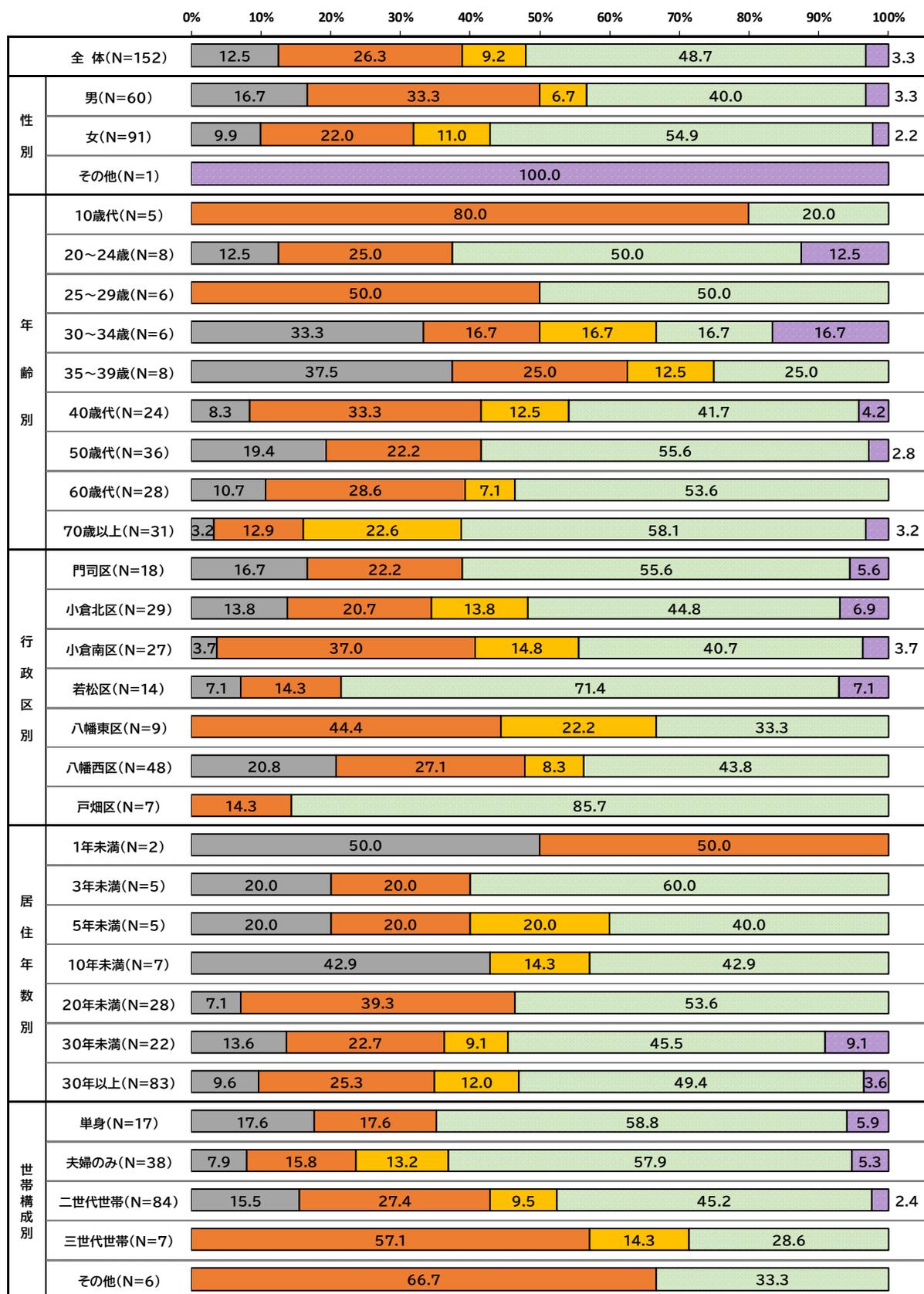
項目	回答数	割合
① スタートアップの創出・成長	19	12.5%
② 若者のチャレンジへの支援	40	26.3%
③ 性別にかかわらずキャリア形成の支援	14	9.2%
④ 多様な人材が働くことができる環境の整備	74	48.7%
⑤ その他	5	3.3%

◆ 就業や起業の支援について		
1位 多様な人材が働くことができる環境の整備	48.7%	
2位 若者のチャレンジへの支援	26.3%	
3位 スタートアップの創出・成長	12.5%	



## 問1-2 就業や起業の支援

■ スタートアップの創出・成長
 ■ 若者のチャレンジへの支援
 ■ 性別にかかわらずキャリア形成の支援
 ■ 多様な人材が働くことができる環境の整備
 ■ その他



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 就業や起業の支援

### 【 全体的傾向 】

就業や企業（15項目中6位）の中では、「多様な人材が働くことができる環境の整備」が48.7%と最も多くなっている。次いで「若者のチャレンジへの支援」（26.3%）、「スタートアップの創出・成長」（12.5%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものとして、「若者のチャレンジへの支援」、「スタートアップの創出・成長」がある。
- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「多様な人材が働くことができる環境の整備」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では、「多様な人材が働くことができる環境の整備」や「若者のチャレンジへの支援」が多くなっているが、30歳代で多い「スタートアップの創出・成長」は少ない。
- 50歳代以上では、「多様な人材が働くことができる環境の整備」が5割台と多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

#### 《居住年数別にみると》

- 20年未満では、「若者のチャレンジへの支援」が39.3%と多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- 単身、夫婦のみ世帯では、「多様な人材が働くことができる環境の整備」が5割台と多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 企業誘致
- ・ 高齢者の就職支援
- ・ 若者に限らず子育て世帯、知識が豊富な者、学歴を気にせずにチャレンジが出来る支援。

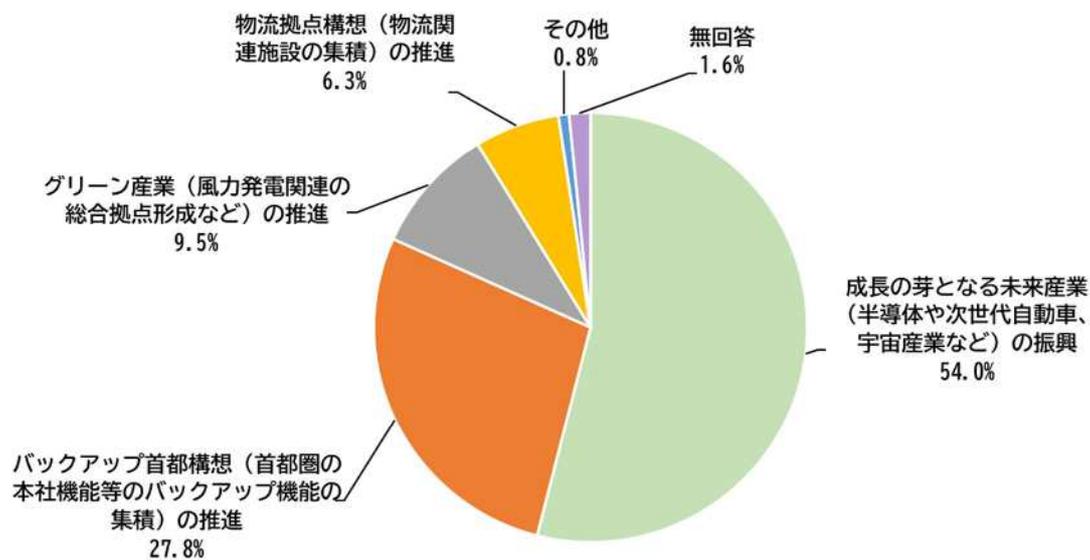
### ③ 新しい産業の振興

N=126人

項目	回答数	割合
① バックアップ首都構想(首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積)の推進	35	27.8%
② 成長の芽となる未来産業(半導体や次世代自動車、宇宙産業など)の振興	68	54.0%
③ グリーン産業(風力発電関連の総合拠点形成など)の推進	12	9.5%
④ 物流拠点構想(物流関連施設の集積)の推進	8	6.3%
⑤ その他	1	0.8%
無回答	2	1.6%

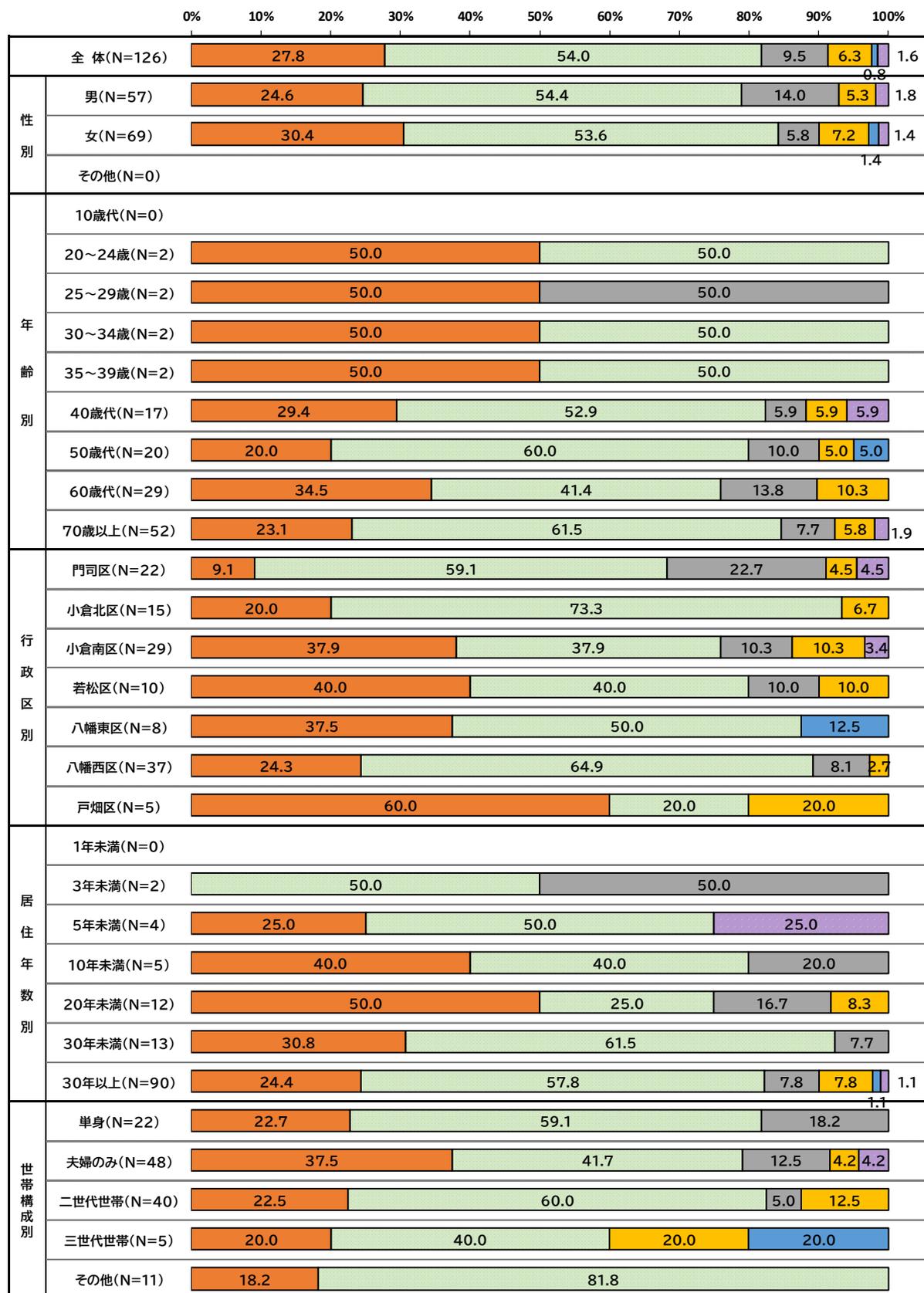
#### ◆ 新しい産業について

1位 成長の芽となる未来産業(半導体や次世代自動車、宇宙産業など)の振興	54.0%
2位 バックアップ首都構想(首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積)の推進	27.8%
3位 グリーン産業(風力発電関連の総合拠点形成など)の推進	9.5%



### 問1-3 新しい産業の振興

- バックアップ首都構想(首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積)の推進
- 成長の芽となる未来産業(半導体や次世代自動車、宇宙産業など)の振興
- グリーン産業(風力発電関連の総合拠点形成など)の推進
- 物流拠点構想(物流関連施設の集積)の推進
- その他
- 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 新しい産業の振興

### 【 全体的傾向 】

新しい産業の振興（15項目中8位）の中では、「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」が54.0%と最も多くなっている。次いで「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」（27.8%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものとして、「グリーン産業（風力発電関連の総合拠点形成など）の推進」がある。
- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代・30歳代では、「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」、「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」が多くなっている。
- 50歳代、70歳以上では、「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」が6割台、60歳代では、「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」が34.5%と多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 小倉南区、若松区では「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」と「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」が同数であった。

#### 《居住年数別にみると》

- 30年以上では、「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」が57.8%と多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- 二世帯世帯では、「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」が60.0%、夫婦のみ世帯では、「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」が37.5%と多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 寿司の街なら西日本一の水産業にする。西港市場の建て替え、豊洲のように観光と結びつける。

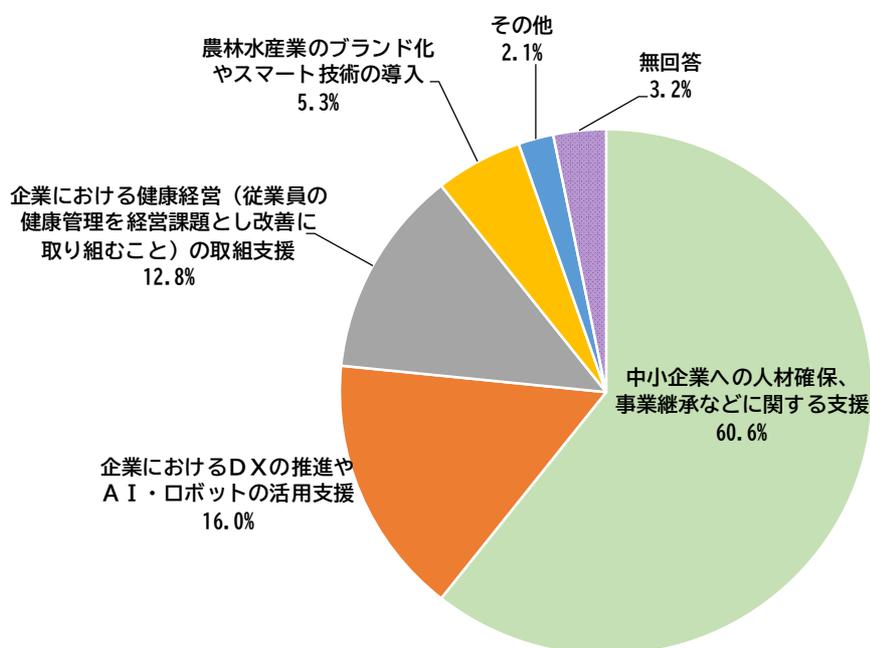
#### ④ 企業の力を高める

N=94人

項目	回答数	割合
① 企業におけるDXの推進やAI・ロボットの活用支援	15	16.0%
② 中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援	57	60.6%
③ 企業における健康経営(従業員の健康管理を経営課題とし改善に取り組むこと)の取組支援	12	12.8%
④ 農林水産業のブランド化やスマート技術の導入	5	5.3%
⑤ その他	2	2.1%
無回答	3	3.2%

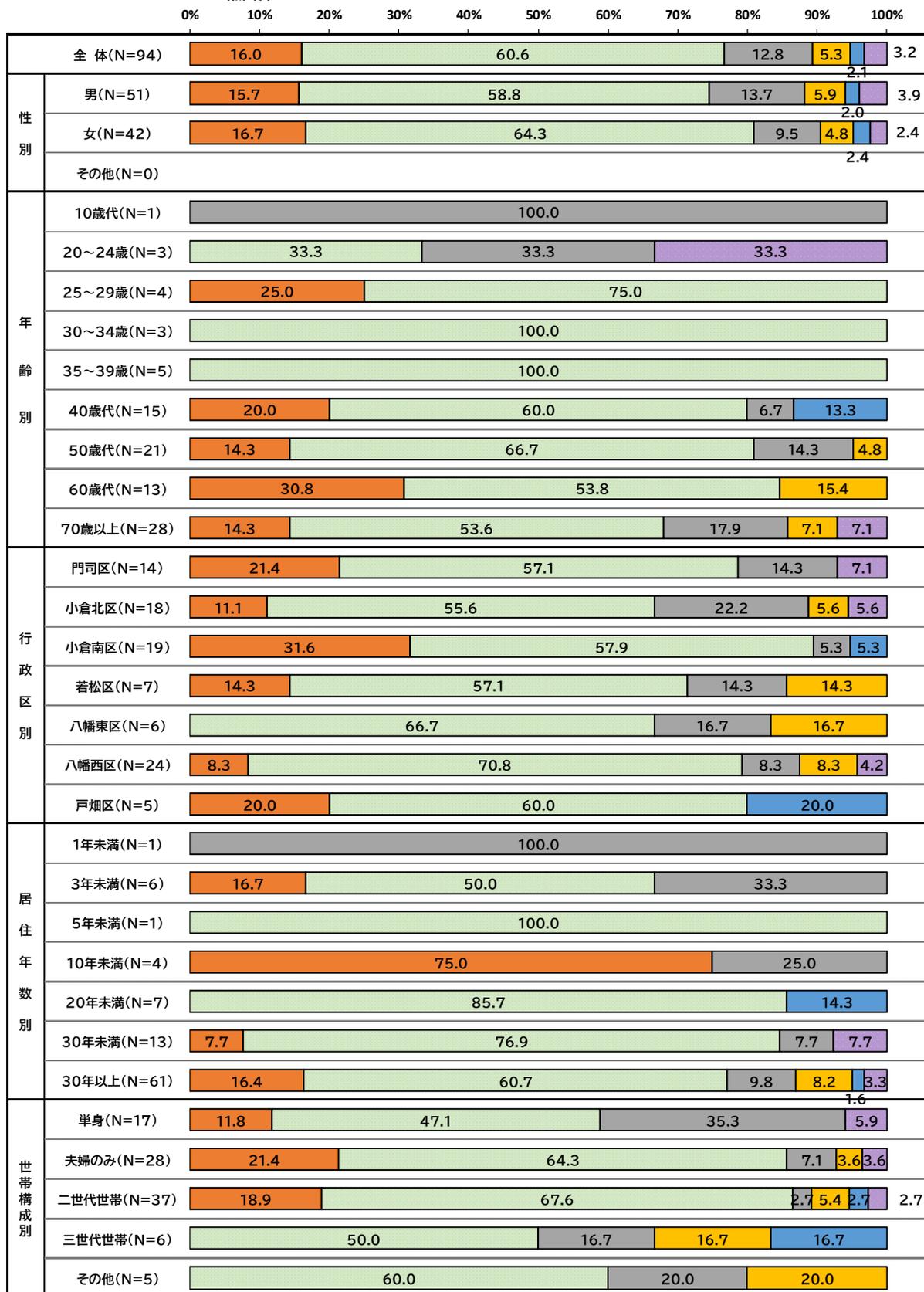
##### ◆ 企業の力を高めるについて

1位 中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援	60.6%
2位 企業におけるDXの推進やAI・ロボットの活用支援	16.0%
3位 企業における健康経営(従業員の健康管理を経営課題とし改善に取り組むこと)の取組支援	12.8%



# 問1-4 企業の力を高める

- 企業におけるDXの推進やAI・ロボットの活用支援
- 中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援
- 企業における健康経営(従業員の健康管理を経営課題とし改善に取り組むこと)の取組支援
- 農林水産業のブランド化やスマート技術の導入
- その他
- 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 企業の力を高める

### 【 全体的傾向 】

企業の力を高める（15項目中11位）の中では、「中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援」が60.6%と最も多くなっている。次いで「企業におけるDXの推進やAI・ロボットの活用支援」（16.0%）、「企業における健康経営（従業員の健康管理を経営課題とし改善に取り組むこと）の取組支援」（12.8%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 30歳代では全員が「中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援」としているが、29歳以下のZ世代では、「中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援」、「企業におけるDXの推進やAI・ロボットの活用支援」、「企業における健康経営（従業員の健康管理を経営課題とし改善に取り組むこと）の取組支援」に分散している。

#### 《行政区別にみると》

- 全区において「中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援」が多くなっている。

#### 《居住年数別、世帯構成別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

### 【 その他の内容 】

- 会社が従業員に対し給料をきちんと出す。

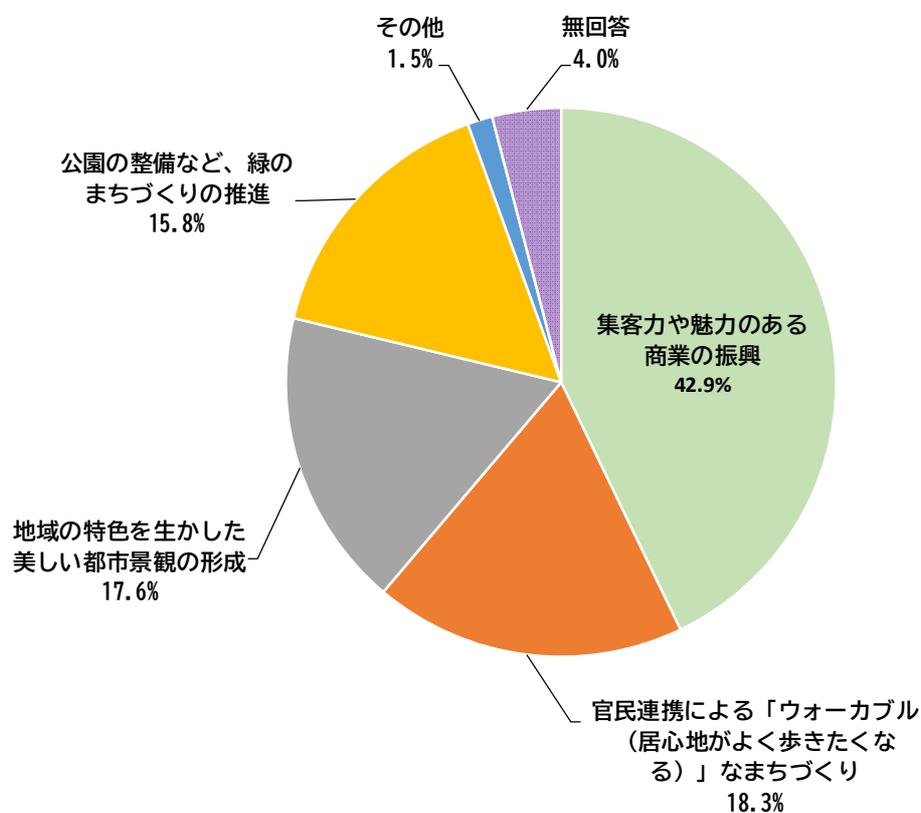
## ⑤ まちの魅力を高める

N=273人

項目	回答数	割合
① 官民連携による「ウォーカブル(居心地がよく歩きたくなる)」なまちづくり	50	18.3%
② 集客力や魅力のある商業の振興	117	42.9%
③ 公園の整備など、緑のまちづくりの推進	43	15.8%
④ 地域の特色を生かした美しい都市景観の形成	48	17.6%
⑤ その他	4	1.5%
無回答	11	4.0%

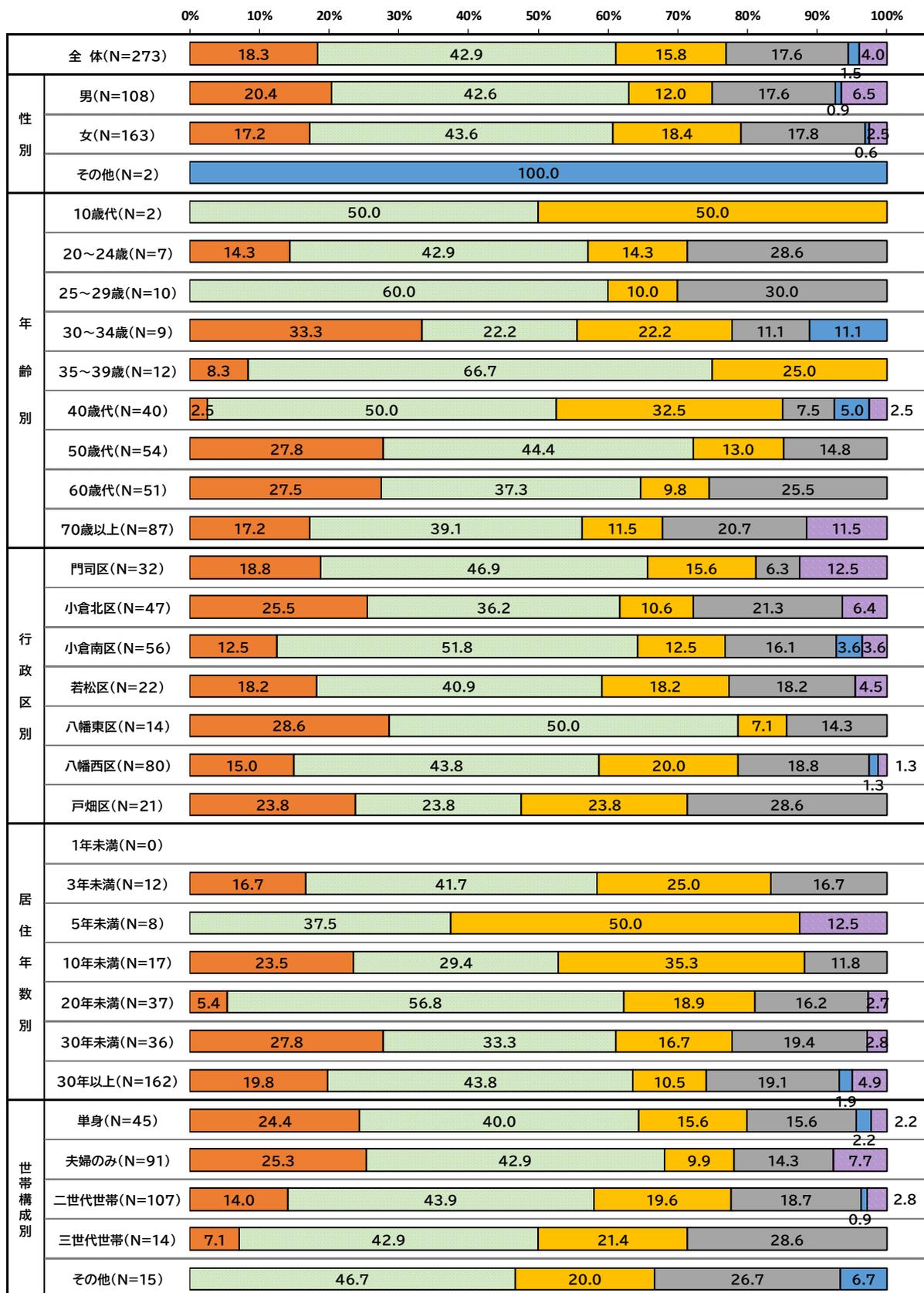
### ◆ まちの魅力を高めるについて

1位 集客力や魅力のある商業の振興	42.9%
2位 官民連携による「ウォーカブル(居心地がよく歩きたくなる)」なまちづくり	18.3%
3位 地域の特色を生かした美しい都市景観の形成	17.6%



# 問1-5 まちの魅力を高める

■ 官民連携による「ウォーカブル (居心地がよく歩き なくなる)」なまちづくり
 ■ 集客力や魅力のある商業の振興
 ■ 公園の整備など、緑のまちづくりの推進
 ■ 地域の特色を生かした美しい都市景観の形成
 ■ その他
 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## まちの魅力を高める

### 【 全体的傾向 】

まちの魅力を高める（15項目中3位）の中では、「集客力や魅力のある商業の振興」が42.9%と最も多くなっている。次いで「官民連携による「ウォークブル（居心地がよく歩きたくなる）」なまちづくり」（18.3%）、「地域の特色を生かした美しい都市景観の形成」（17.6%）、「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」（15.8%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では、「集客力や魅力のある商業の振興」や「地域の特色を生かした美しい都市景観の形成」が多いが、「官民連携による「ウォークブル（居心地がよく歩きたくなる）」なまちづくり」は少なくなっている。
- 40歳代では、「集客力や魅力のある商業の振興」が50.0%、「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が32.5%と多くなっている。
- 50歳代・60歳代では、「官民連携による「ウォークブル（居心地がよく歩きたくなる）」なまちづくり」が3割弱と多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 戸畑区では、「集客力や魅力のある商業の振興」を抑えて、「地域の特色を生かした美しい都市景観の形成」が28.6%と最も多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- サンプル数は少ないが、居住年数が短いほど、「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が多くなる傾向がみられる。

#### 《世帯構成別にみると》

- 三世帯世帯では、「地域の特色を生かした美しい都市景観の形成」が28.6%と多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ マンション乱建設を禁止し低層一戸建て住宅地域による貴重な景観を維持・拡大。
- ・ 国内外を問わず魅力を感じるまちづくり。
- ・ 住民一人一人が安心して笑顔で暮らせる優しい心を大切にしたいまちづくり。

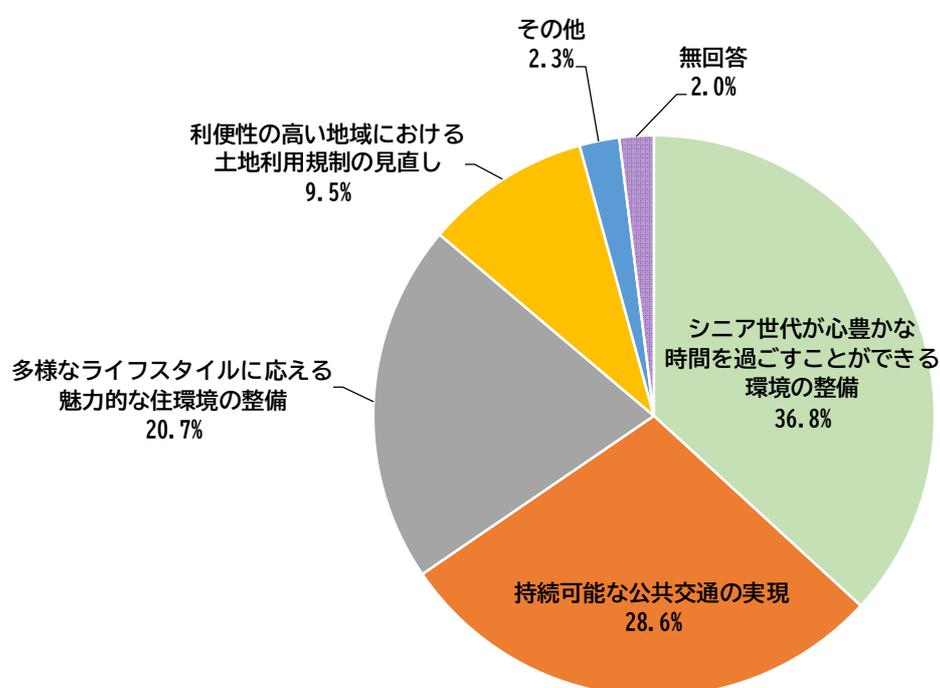
## ⑥ 住まい環境の充実

N=304人

項目	回答数	割合
① 利便性の高い地域における土地利用規制の見直し	29	9.5%
② 多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備	63	20.7%
③ シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備	112	36.8%
④ 持続可能な公共交通の実現	87	28.6%
⑤ その他	7	2.3%
無回答	6	2.0%

### ◆ 住まい環境の充実について

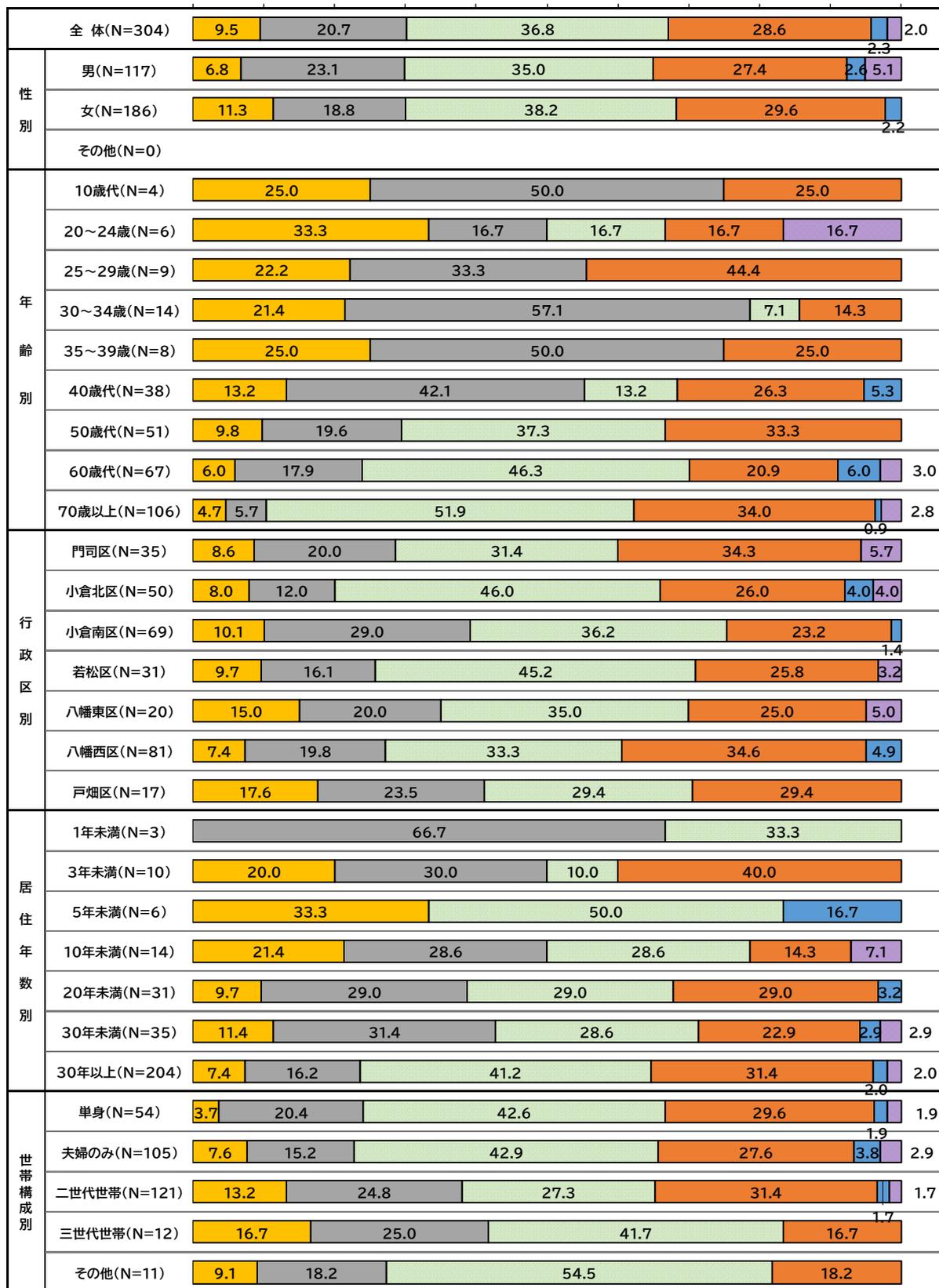
1位 シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備	36.8%
2位 持続可能な公共交通の実現	28.6%
3位 多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備	20.7%



# 問1-6 住まい環境の充実

■ 利便性の高い地域における土地利用規制の見直し  
■ 多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備  
■ シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備  
■ 持続可能な公共交通の実現  
■ その他  
■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 住まい環境の充実

### 【 全体的傾向 】

住まい環境の充実（15項目中2位）の中では、「シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備」が36.8%と最も多くなっている。次いで「持続可能な公共交通の実現」（28.6%）、「多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備」（20.7%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では、20～24歳では分散しているが、25～29歳では「シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備」はひとりもない。
- Z世代を抜きにすると、年齢が低いほど「多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備」や「持続可能な公共交通の実現」、年齢が高いほど「シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備」が多くなる傾向がある。

#### 《行政区別にみると》

- 門司区と八幡西区では、「シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備」を抑えて、「持続可能な公共交通の実現」が3割台と最も多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- 30年未満では、「多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備」が31.4%、30年以上では「シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備」が41.2%と最も多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- 単身、夫婦のみ、二世帯世帯、三世帯世帯と同居世代が多いほど、「利便性の高い地域における土地利用規制の見直し」や「多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備」が多くなる傾向がみられる。

### 【 その他の内容 】

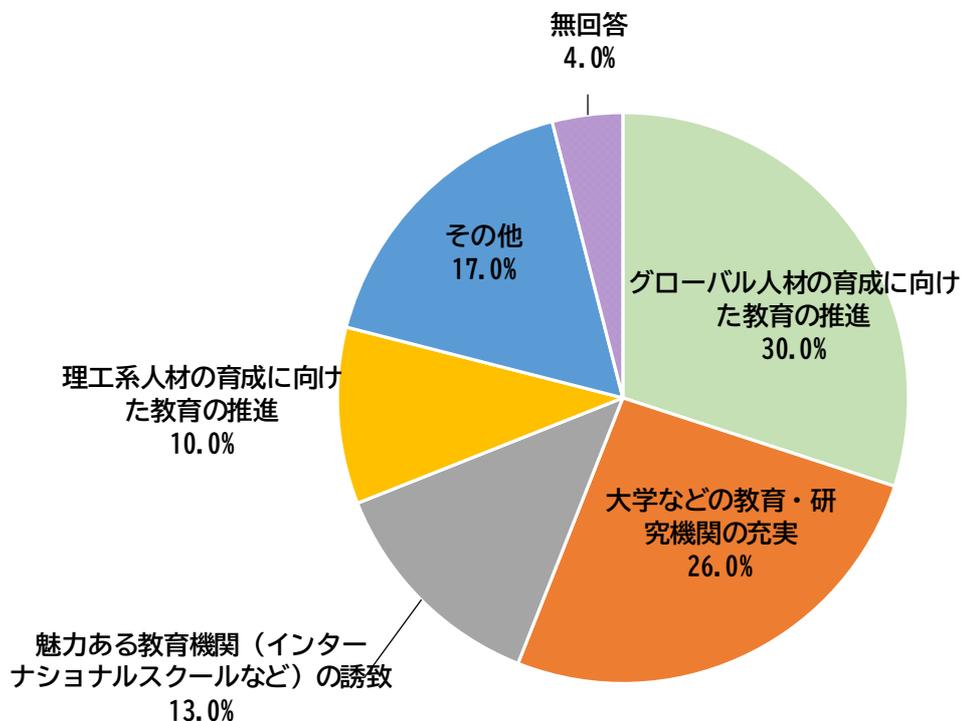
- ・ 高層マンション建設地など日照権を守るための規制等の整備
- ・ 自転車及び徒歩の道路事情が悪い。
- ・ 若松区では小規模スーパーマーケットの撤退で困窮している住民がいる。車のない住民の為バスなど充実させて欲しい。
- ・ ペットを連れて出かけられるまちづくり

⑦ 教育環境の充実

N=100人

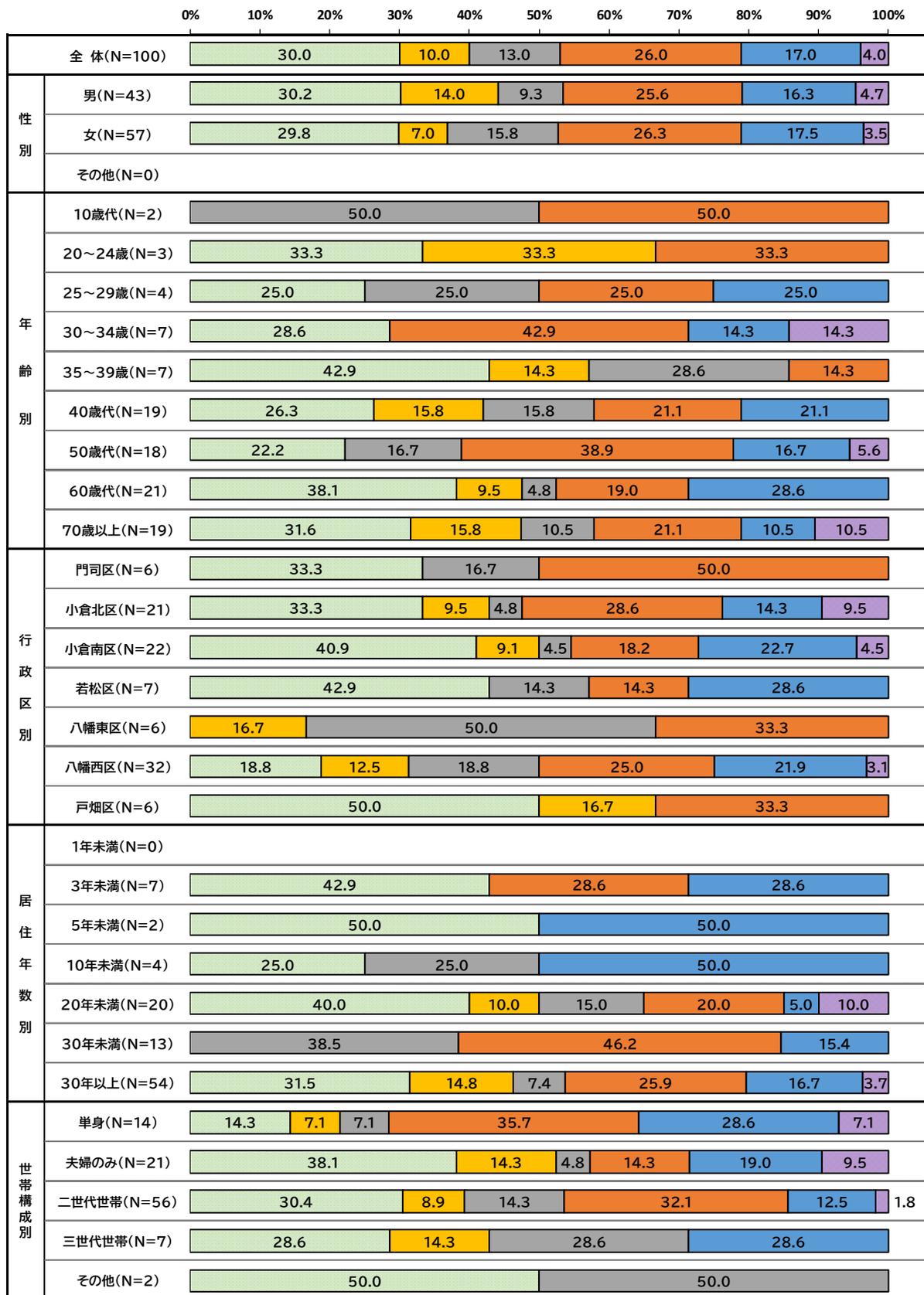
項目	回答数	割合
① グローバル人材の育成に向けた教育の推進	30	30.0%
② 理工系人材の育成に向けた教育の推進	10	10.0%
③ 魅力ある教育機関(インターナショナルスクールなど)の誘致	13	13.0%
④ 大学などの教育・研究機関の充実	26	26.0%
⑤ その他	17	17.0%
無回答	4	4.0%

◆ 教育環境の充実について		
1位	グローバル人材の育成に向けた教育の推進	30.0%
2位	大学などの教育・研究機関の充実	26.0%
3位	その他	17.0%



# 問1-7 教育環境の充実

■ グローバル人材の育成に向けた教育の推進   
 ■ 理工系人材の育成に向けた教育の推進   
 ■ 魅力ある教育機関（インターナショナルスクールなど）の誘致   
 ■ 大学などの教育・研究機関の充実   
 ■ その他   
 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 教育環境の充実

### 【 全体的傾向 】

教育環境の充実（15項目中10位）の中では、「グローバル人材の育成に向けた教育の推進」が30.0%と最も多くなっている。次いで「大学などの教育・研究機関の充実」（26.0%）、「魅力ある教育機関（インターナショナルスクールなど）の誘致」（13.0%）、「理工系人材の育成に向けた教育の推進」（10.0%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものとして、「理工系人材の育成に向けた教育の推進」がある。
- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「魅力ある教育機関（インターナショナルスクールなど）の誘致」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では、ひとつに集中せず、分散しているが、20～24歳では「魅力ある教育機関（インターナショナルスクールなど）の誘致」、25～29歳では「理工系人材の育成に向けた教育の推進」はひとりもない。
- 他の年齢層についても、ひとつに集中せず、分散する傾向が強くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 八幡東区では「グローバル人材の育成に向けた教育の推進」が選択されなかった。

#### 《居住年数別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

#### 《世帯構成別にみると》

- 二世帯世帯では「大学などの教育・研究機関の充実」が多くなっている

### 【 その他の内容 】

- ・ 老人介護・乳児の世話・農作業等、必修科目として義務教育に取り入れる。
- ・ 小中学校の施設の見直し。老朽化対策。
- ・ 高校、大学までの無償化

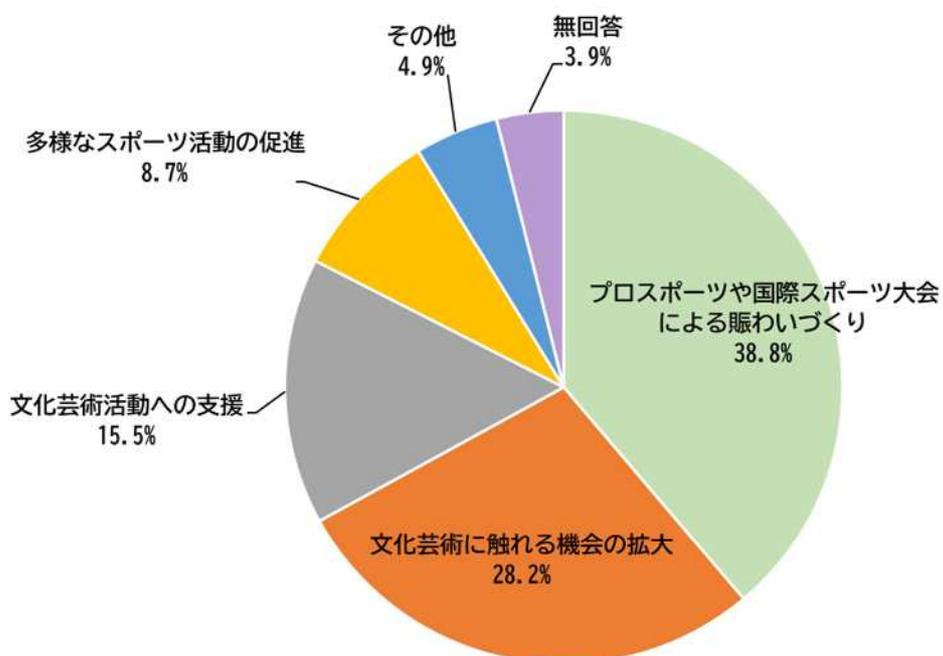
## ⑧ 文化芸術・スポーツの振興

N=103人

項目	回答数	割合
① 文化芸術に触れる機会の拡大	29	28.2%
② 文化芸術活動への支援	16	15.5%
③ 多様なスポーツ活動の促進	9	8.7%
④ プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり	40	38.8%
⑤ その他	5	4.9%
無回答	4	3.9%

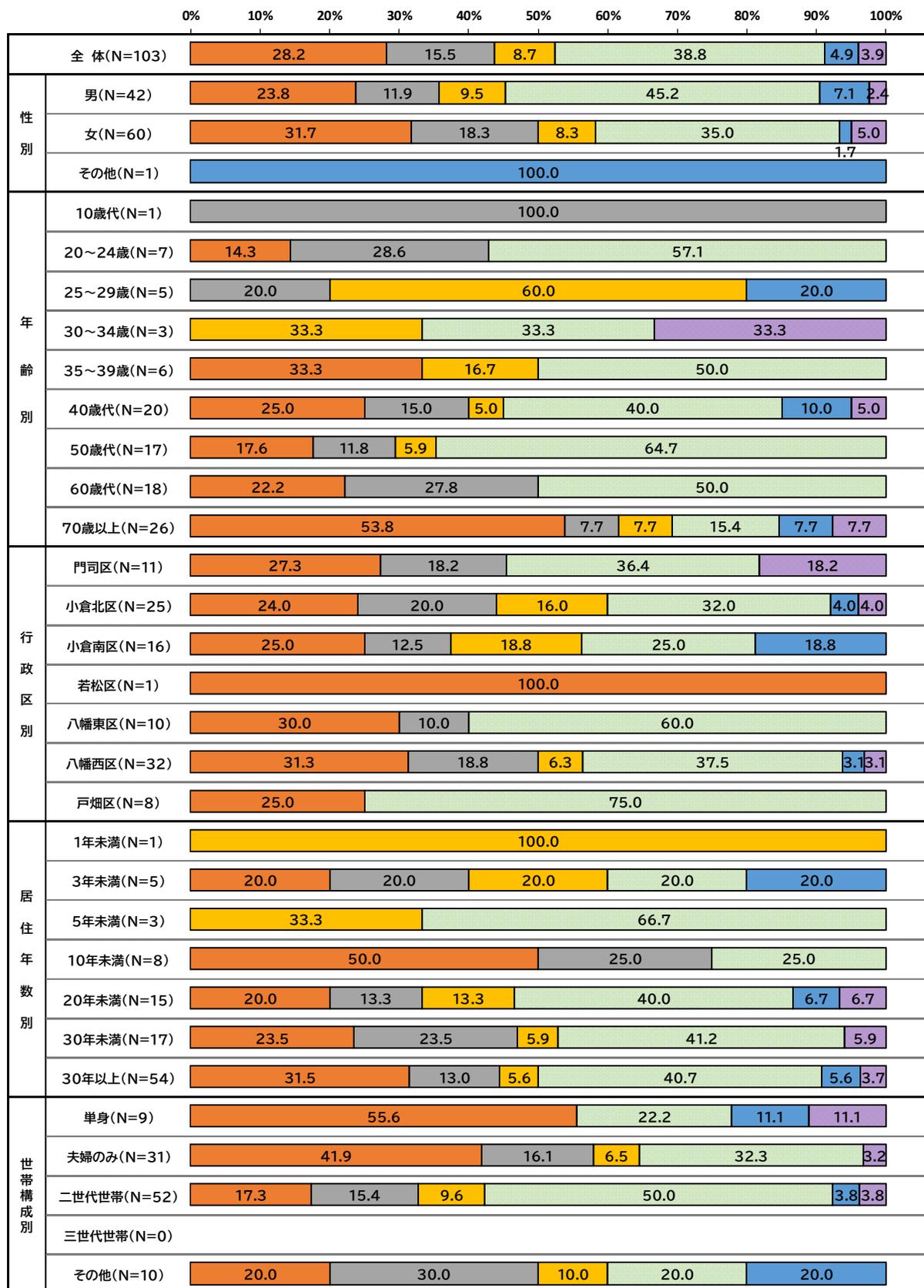
### ◆ 文化芸術・スポーツの振興について

1位 プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり	38.8%
2位 文化芸術に触れる機会の拡大	28.2%
3位 文化芸術活動への支援	15.5%



# 問1-8 文化芸術・スポーツの振興

■ 文化芸術に触れる機会拡大   
 ■ 文化芸術活動への支援   
 ■ 多様なスポーツ活動の促進   
 ■ プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり   
 ■ その他   
 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 文化芸術・スポーツの振興

### 【 全体的傾向 】

文化芸術・スポーツの振興（15項目中9位）の中では、「プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり」が38.8%と最も多くなっている。次いで「文化芸術に触れる機会の拡大」(28.2%)、「文化芸術活動への支援」(15.5%)となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものとして、「プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり」がある。
- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「文化芸術に触れる機会の拡大」、「文化芸術活動への支援」がある。

#### 《年齢別にみると》

- Z世代の20～24歳では「プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり」、25～29歳では「多様なスポーツ活動の推進」が半数を超えている。
- 30～60歳では、「プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり」、70歳以上では、「文化芸術に触れる機会の拡大」が最も多くなっている。

#### 《行政区別、居住年数別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

#### 《世帯構成別にみると》

- 二世帯世帯では「プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり」が多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 北九州市民球場を新たな球場に改修（新設）し、他の地方都市に負けない球場とし、野球場、ミクニワールド、競輪場等と組み合わせ九州のスポーツの一大拠点を目指したらいかがと思います。～「スポーツなら北九州」
- ・ eスポーツ。

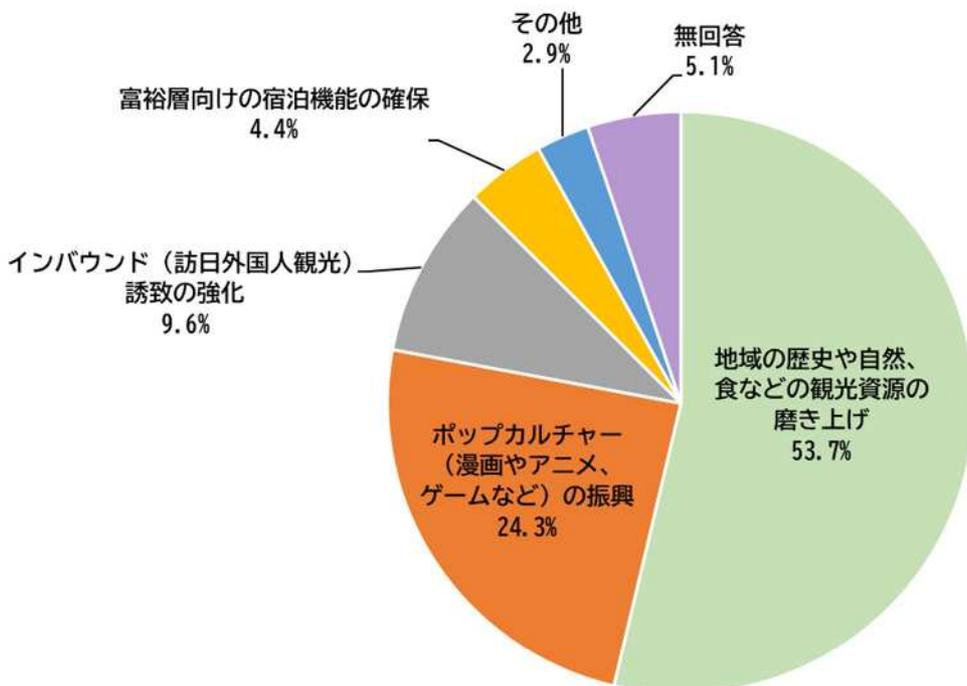
⑨ 観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり

N=136人

項目	回答数	割合
① 地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ	73	53.7%
② ポップカルチャー(漫画やアニメ、ゲームなど)の振興	33	24.3%
③ インバウンド(訪日外国人観光)誘致の強化	13	9.6%
④ 富裕層向けの宿泊機能の確保	6	4.4%
⑤ その他	4	2.9%
無回答	7	5.1%

◆ 観光・エンターテインメントによるにぎわいづくりについて

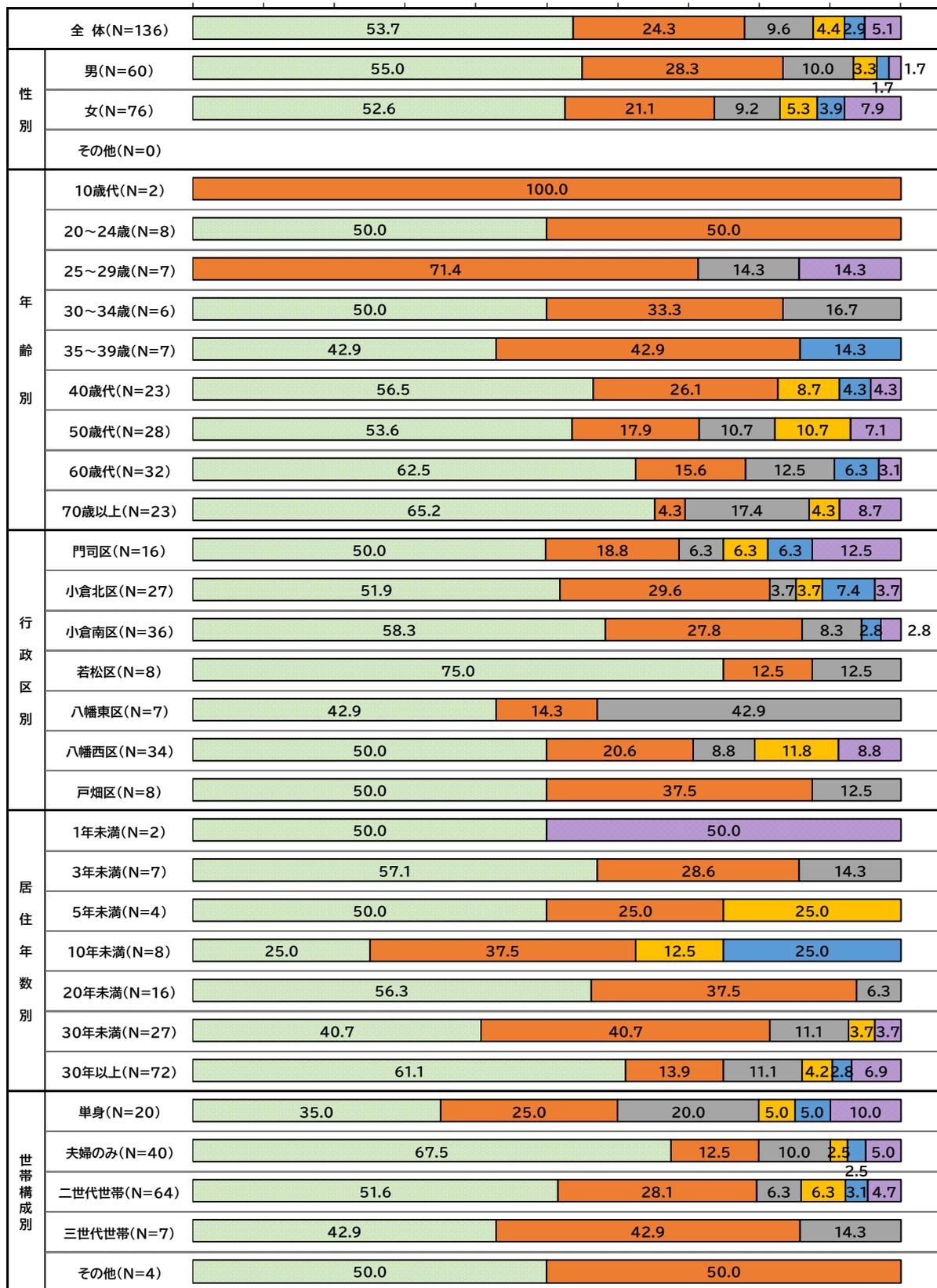
1位 地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ	53.7%
2位 ポップカルチャー(漫画やアニメ、ゲームなど)の振興	24.3%
3位 インバウンド(訪日外国人観光)誘致の強化	9.6%



# 問1-9 観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり

■ 地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ  
■ ポップカルチャー（漫画やアニメ、ゲームなど）の振興  
■ インバウンド（訪日外国人観光）誘致の強化  
■ 富裕層向けの宿泊機能の確保  
■ その他  
■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり

### 【 全体的傾向 】

観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり（15項目中7位）の中では、「地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ」が53.7%と最も多くなっている。次いで「ポップカルチャー（漫画やアニメ、ゲームなど）の振興」（24.3%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものとして、「ポップカルチャー（漫画やアニメ、ゲームなど）の振興」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代及び30歳代では、「ポップカルチャー（漫画やアニメ、ゲームなど）の振興」が多く、「富裕層向けの宿泊機能の確保」はひとりもない。
- 60歳代以上では、「地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ」が6割台と多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 全区において「地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ」が最も多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- 30年以上では、「地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ」が61.1%と多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- 夫婦のみ世帯では、「地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ」が67.5%と多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 各祭りの充実と持続への強化
- ・ ライブの誘致
- ・ 紫川河川レストラン、カフェなどもっとあってよいのではと思う。

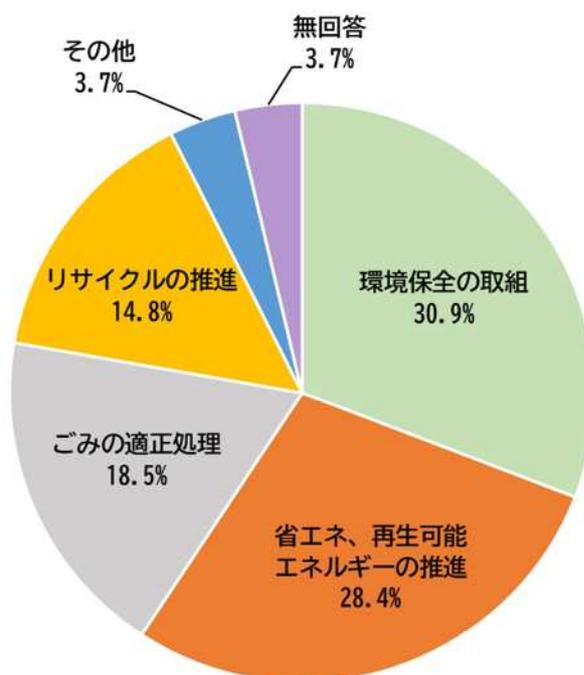
⑩ 環境施策の充実

N=81人

項目	回答数	割合
① ごみの適正処理	15	18.5%
② リサイクルの推進	12	14.8%
③ 環境保全の取組	25	30.9%
④ 省エネ、再生可能エネルギーの推進	23	28.4%
⑤ その他	3	3.7%
無回答	3	3.7%

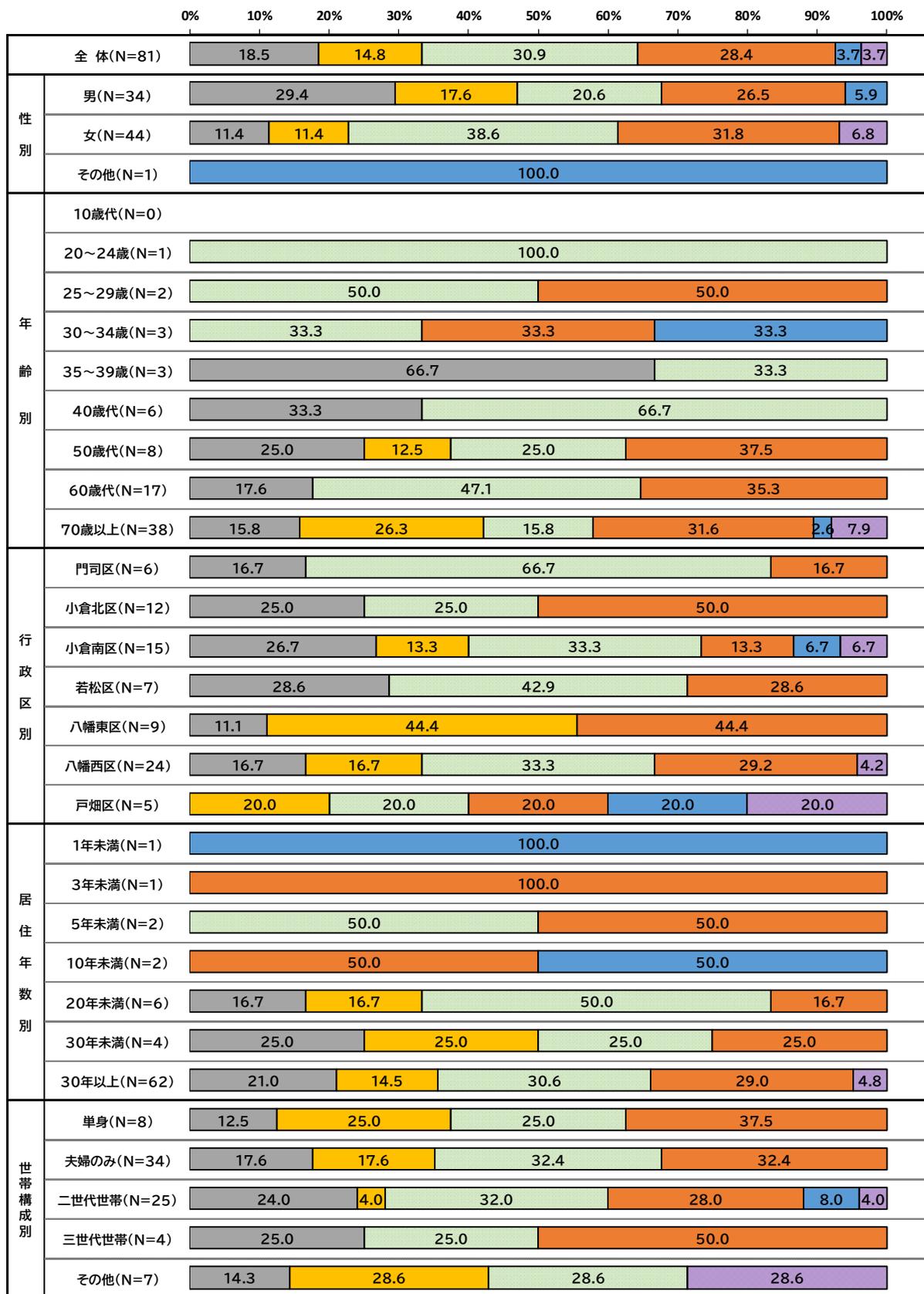
◆ 環境施策の充実について

1位 環境保全の取組	30.9%
2位 省エネ、再生可能エネルギーの推進	28.4%
3位 ごみの適正処理	18.5%



# 問1-10 環境施策の充実

■ ごみの適正処理   
 ■ リサイクルの推進   
 ■ 環境保全の取組   
 ■ 省エネ、再生可能エネルギーの推進   
 ■ その他   
 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 環境施策の充実

### 【 全 体 的 傾 向 】

環境施策の充実（15項目中13位）の中では、「環境保全の取組」が30.9%と最も多くなっている。次いで「省エネ、再生可能エネルギーの推進」（28.4%）、「ごみの適正処理」（18.5%）、「リサイクルの推進」（14.8%）となっている。

### 【 属 性 別 に み た 傾 向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものとして、「ごみの適正処理」、「リサイクルの推進」がある。
- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「環境保全の取組」、「省エネ、再生可能エネルギーの推進」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では、「ごみの適正処理」や「リサイクルの推進」をひとりもあげていない。
- 他の年齢層でも、「リサイクルの推進」は少なくなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 八幡東区では「環境保全の取組」は選択されていない。

#### 《居住年数別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

#### 《世帯構成別にみると》

- 夫婦のみの世帯では「環境保全の取組」と「省エネ、再生可能エネルギーの推進」がともに32.4%で同率となっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 道路・街路樹の管理
- ・ 道路をふさぐほど草が大きく伸び垂れ下がり、おまけに木の葉がミラーをふさいで対向車が見えず危険である。

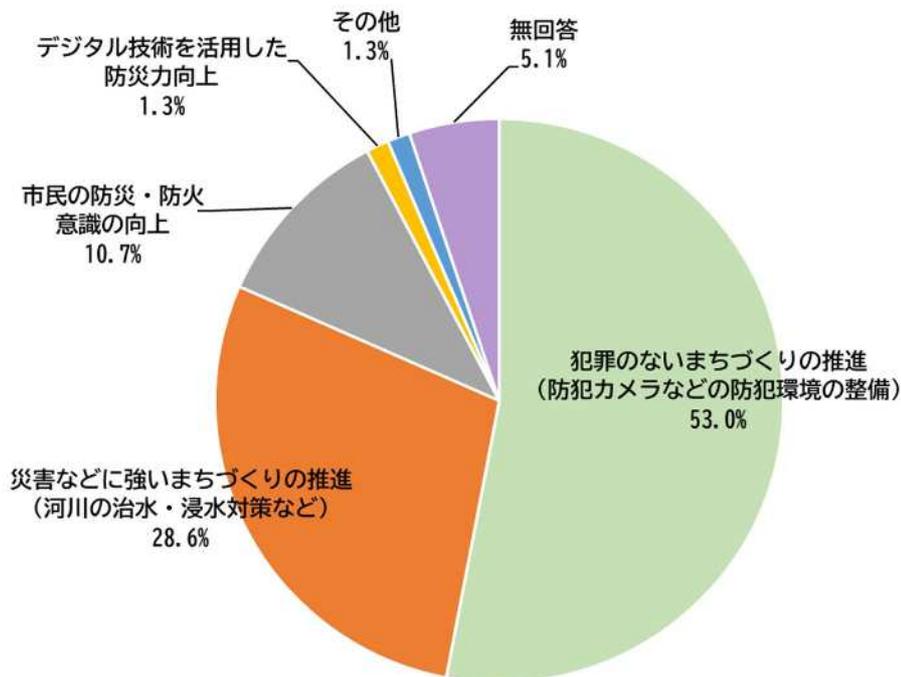
⑪ 防災や防犯のまちづくり

N=234人

項目	回答数	割合
① 犯罪のないまちづくりの推進(防犯カメラなどの防犯環境の整備)	124	53.0%
② 災害などに強いまちづくりの推進(河川の治水・浸水対策など)	67	28.6%
③ 市民の防災・防火意識の向上	25	10.7%
④ デジタル技術を活用した防災力向上	3	1.3%
⑤ その他	3	1.3%
無回答	12	5.1%

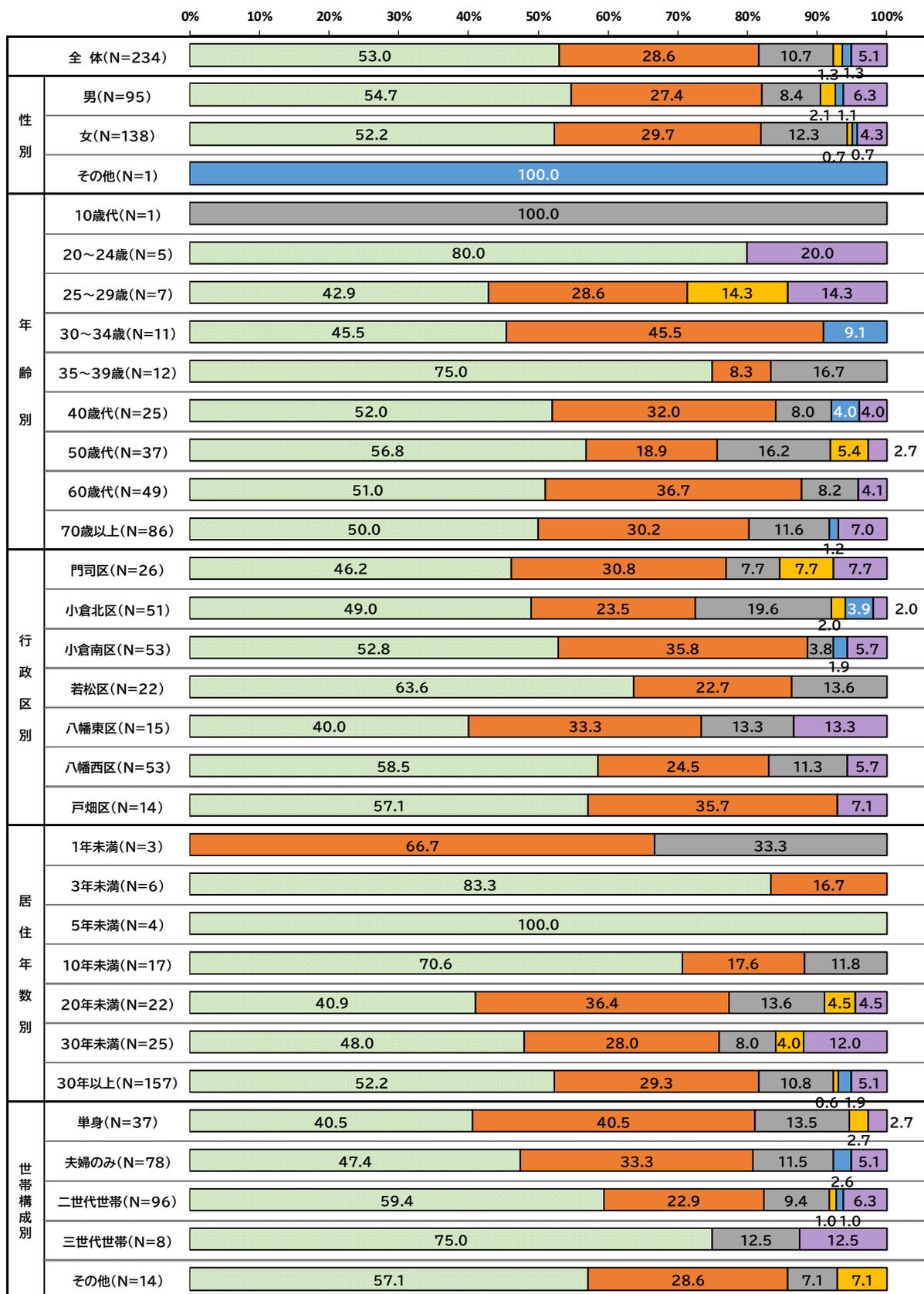
◆ 防災や防犯のまちづくりについて

1位 犯罪のないまちづくりの推進(防犯カメラなどの防犯環境の整備)	53.0%
2位 災害などに強いまちづくりの推進(河川の治水・浸水対策など)	28.6%
3位 市民の防災・防火意識の向上	10.7%



# 問1-11 防災や防犯のまちづくり

- 犯罪のないまちづくりの推進(防犯カメラなどの防犯環境の整備)
- 災害などに強いまちづくりの推進(河川の治水・浸水対策など)
- 市民の防災・防火意識の向上
- デジタル技術を活用した防災力向上
- その他
- 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 防災や防犯のまちづくり

### 【 全体的傾向 】

防災や防犯のまちづくり（15項目中4位）の中では、「犯罪のないまちづくりの推進（防犯カメラなどの防犯環境の整備）」が53.0%と最も多くなっている。次いで「災害などに強いまちづくりの推進（河川の治水・浸水対策など）」（28.6%）、「市民の防災・防火意識の向上」（10.7%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代、他の年齢層を問わず、「犯罪のないまちづくりの推進（防犯カメラなどの防犯環境の整備）」が最も多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 各行政区とも「犯罪のないまちづくりの推進（防犯カメラなどの防犯環境の整備）」が最も多くなっているが、小倉南区では「災害などに強いまちづくりの推進（河川の治水・浸水対策など）」も35.8%と多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- 1年未満を除き、「犯罪のないまちづくりの推進（防犯カメラなどの防犯環境の整備）」が多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- 二世帯世帯では、「犯罪のないまちづくりの推進（防犯カメラなどの防犯環境の整備）」が59.4%と多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 災害が起きた時、市民が避難できるシェルターがいくつかあればいいと思う。学校付近など。
- ・ 近年、多様性ばかりに注目して海外からの移民が増えつつあります。違う文化の方が増える度に、犯罪が増えてます。

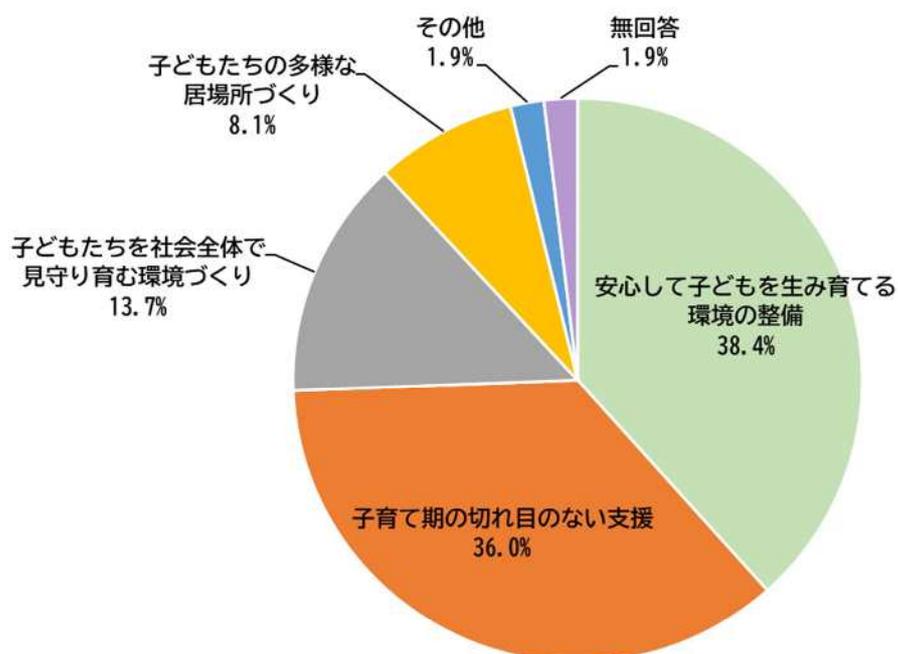
## ⑫ 子育て支援の推進

N=211人

項目	回答数	割合
① 安心して子どもを産み育てる環境の整備	81	38.4%
② 子育て期の切れ目のない支援	76	36.0%
③ 子どもたちの多様な居場所づくり	17	8.1%
④ 子どもたちを社会全体で見守り育む環境づくり	29	13.7%
⑤ その他	4	1.9%
無回答	4	1.9%

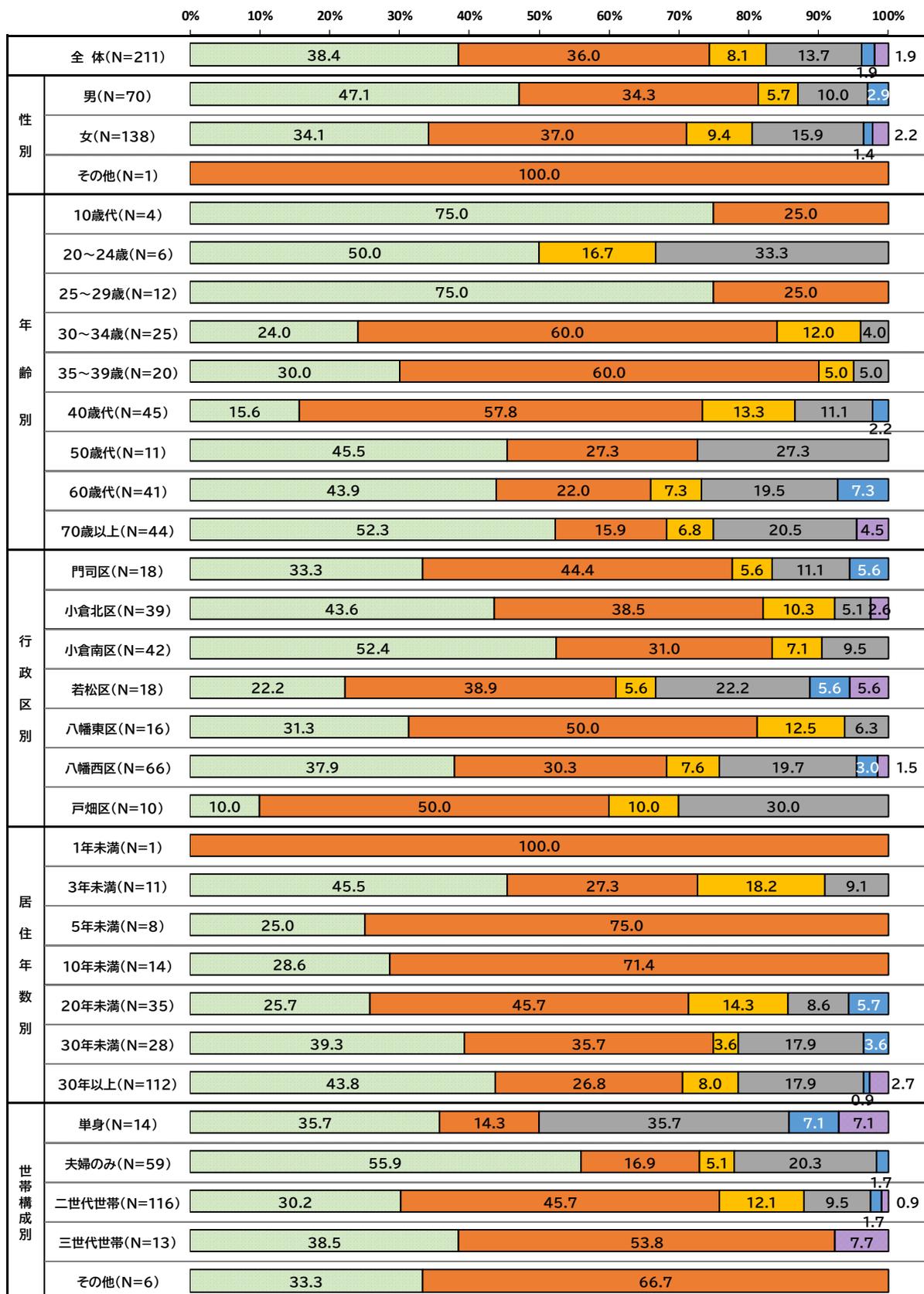
### ◆ 子育て支援の推進について

1位 安心して子どもを産み育てる環境の整備	38.4%
2位 子育て期の切れ目のない支援	36.0%
3位 子どもたちを社会全体で見守り育む環境づくり	13.7%



# 問1-12 子育て支援の推進

■ 安心して子どもを  
生み育てる環境の  
整備 ■ 子育て期の  
切れ目の  
ない支援 ■ 子どもたちの多様な  
居場所づくり ■ 子どもたちを社会  
全体で見守り育む  
環境づくり ■ その他 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 子育て支援の推進

### 【 全体的傾向 】

子育て支援の推進（15 項目中5位）の中では、「安心して子どもを産み育てる環境の整備」が38.4%と最も多くなっている。次いで「子育て期の切れ目のない支援」（36.0%）、「子どもたちを社会全体で見守り育てる環境づくり」（13.7%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものとして、「安心して子どもを産み育てる環境の整備」がある。
- 女性が男性より5ポイント以上多いものとして、「子どもたちを社会全体で見守り育てる環境づくり」がある。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代、50歳代以上では、「安心して子どもを産み育てる環境の整備」、30歳代・40歳代では、「子育て期の切れ目のない支援」が最も多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 小倉北区、小倉南区、八幡西区では、「安心して子どもを産み育てる環境の整備」、サンプル数は少ないが、門司区、若松区、八幡東区、戸畑区では、「子育て期の切れ目のない支援」が最も多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- 30年以上では、「安心して子どもを産み育てる環境の整備」が43.8%と多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- 夫婦のみ世帯では「安心して子どもを産み育てる環境の整備」55.9%、二世帯世帯では「子育て期の切れ目のない支援」が45.7%と最も多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 保育士・教師の質の向上
- ・ 多子世帯への支援

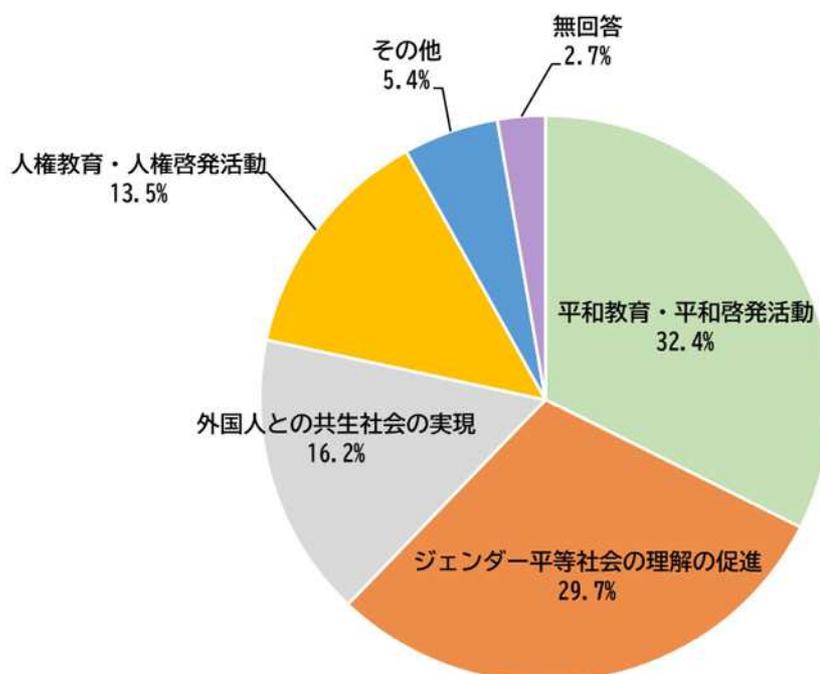
### ⑬ 多様性を認め合うまちづくり

N=37人

項目	回答数	割合
① 人権教育・人権啓発活動	5	13.5%
② 平和教育・平和啓発活動	12	32.4%
③ 外国人との共生社会の実現	6	16.2%
④ ジェンダー平等社会の理解の促進	11	29.7%
⑤ その他	2	5.4%
無回答	1	2.7%

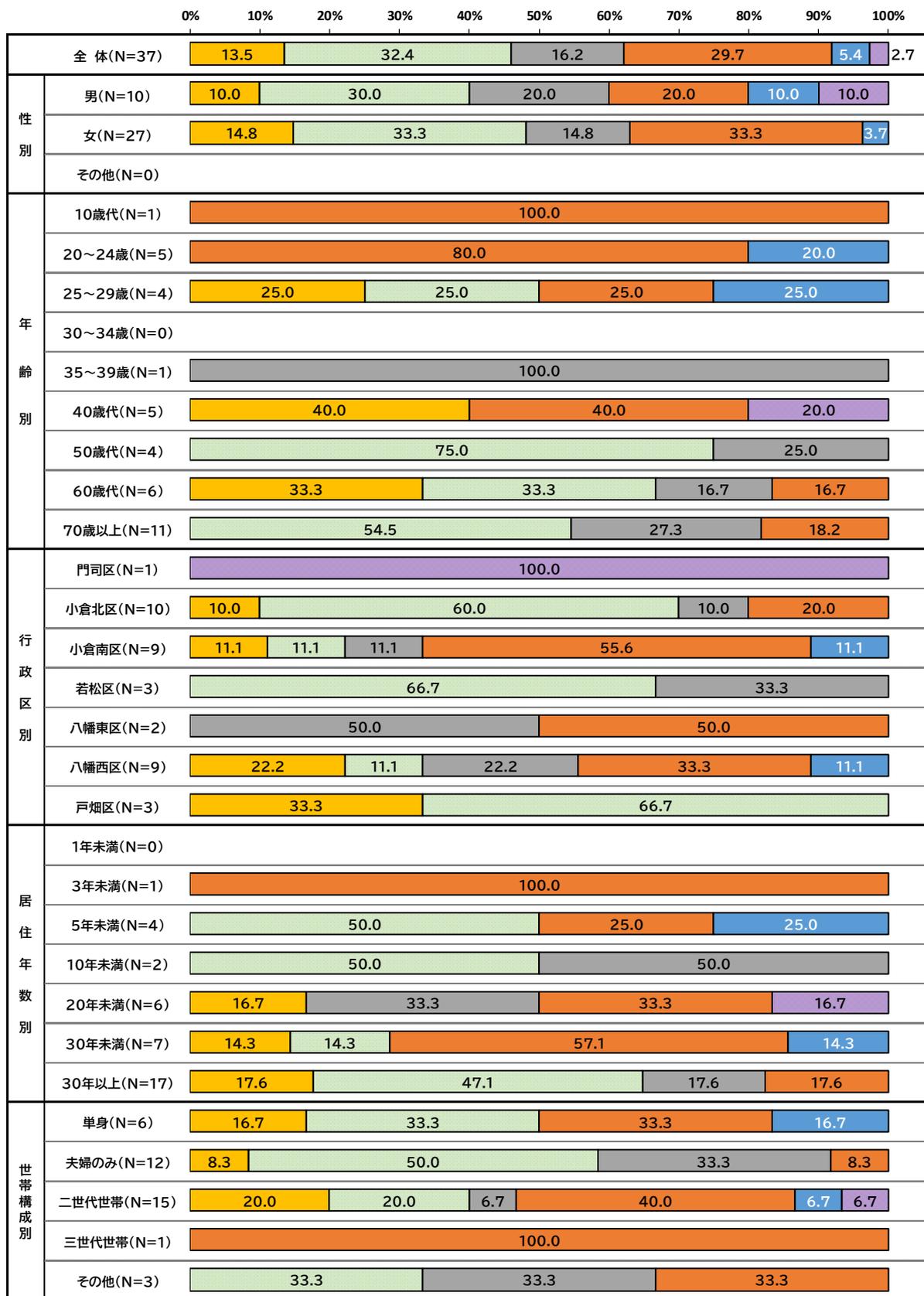
◆ 多様性を認め合うまちづくりについて、

1位 平和教育・平和啓発活動	32.4%
2位 ジェンダー平等社会の理解の促進	29.7%
3位 外国人との共生社会の実現	16.2%



# 問1-13 多様性を認め合うまちづくり

■ 人権教育・人権啓発活動  
 ■ 平和教育・平和啓発活動  
 ■ 外国人との共生社会の実現  
 ■ ジェンダー平等社会の理解の促進  
 ■ その他  
 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 多様性を認め合うまちづくり

### 【 全体的傾向 】

多様性を認め合うまちづくり（15項目中15位）の中では、「平和教育・平和啓発活動」が32.4%と最も多くなっている。次いで「ジェンダー平等社会の理解の促進」（29.7%）、「外国人との共生社会の実現」（16.2%）、「人権教育・人権啓発活動」（13.5%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

#### 《年齢別にみると》

- 期待する施策として、多様性を認め合うまちづくりを選んだ人は、60歳代以下では一桁にすぎず、関心はまだ低いことがうかがえる。こうしたことから、各年齢層での割合は分散しており、一定の傾向はみられない。

#### 《行政区別、居住年数別、世帯構成別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

### 【 その他の内容 】

- ・ 障がい者平等社会の理解の促進
- ・ LGBT支援(渋谷区型と同等、それ以上の認定制度)理解の促進。

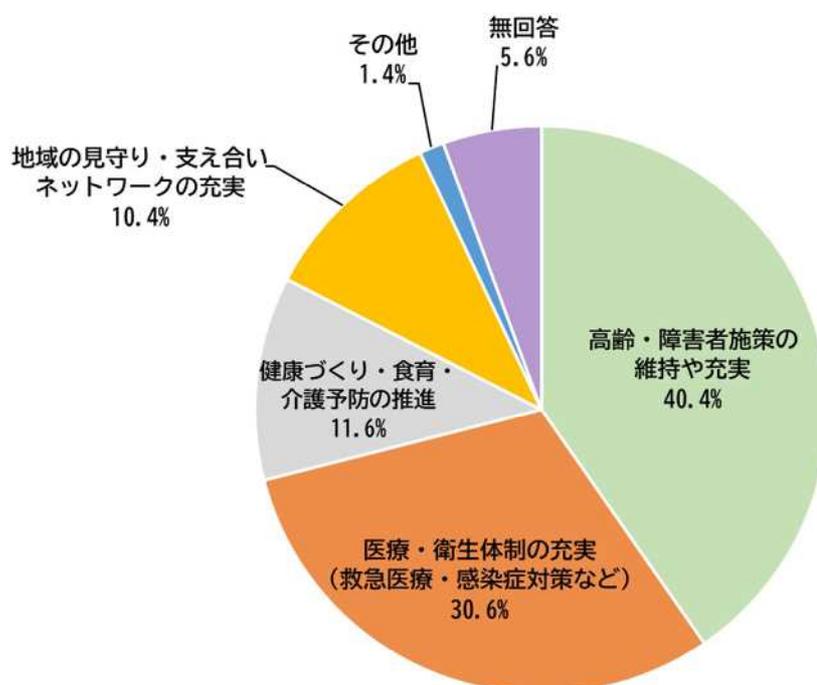
⑭ 保健、医療、介護、福祉などの充実

N=431人

項目	回答数	割合
① 高齢・障害者施策の維持や充実	174	40.4%
② 地域の見守り・支え合いネットワークの充実	45	10.4%
③ 医療・衛生体制の充実(救急医療・感染症対策など)	132	30.6%
④ 健康づくり・食育・介護予防の推進	50	11.6%
⑤ その他	6	1.4%
無回答	24	5.6%

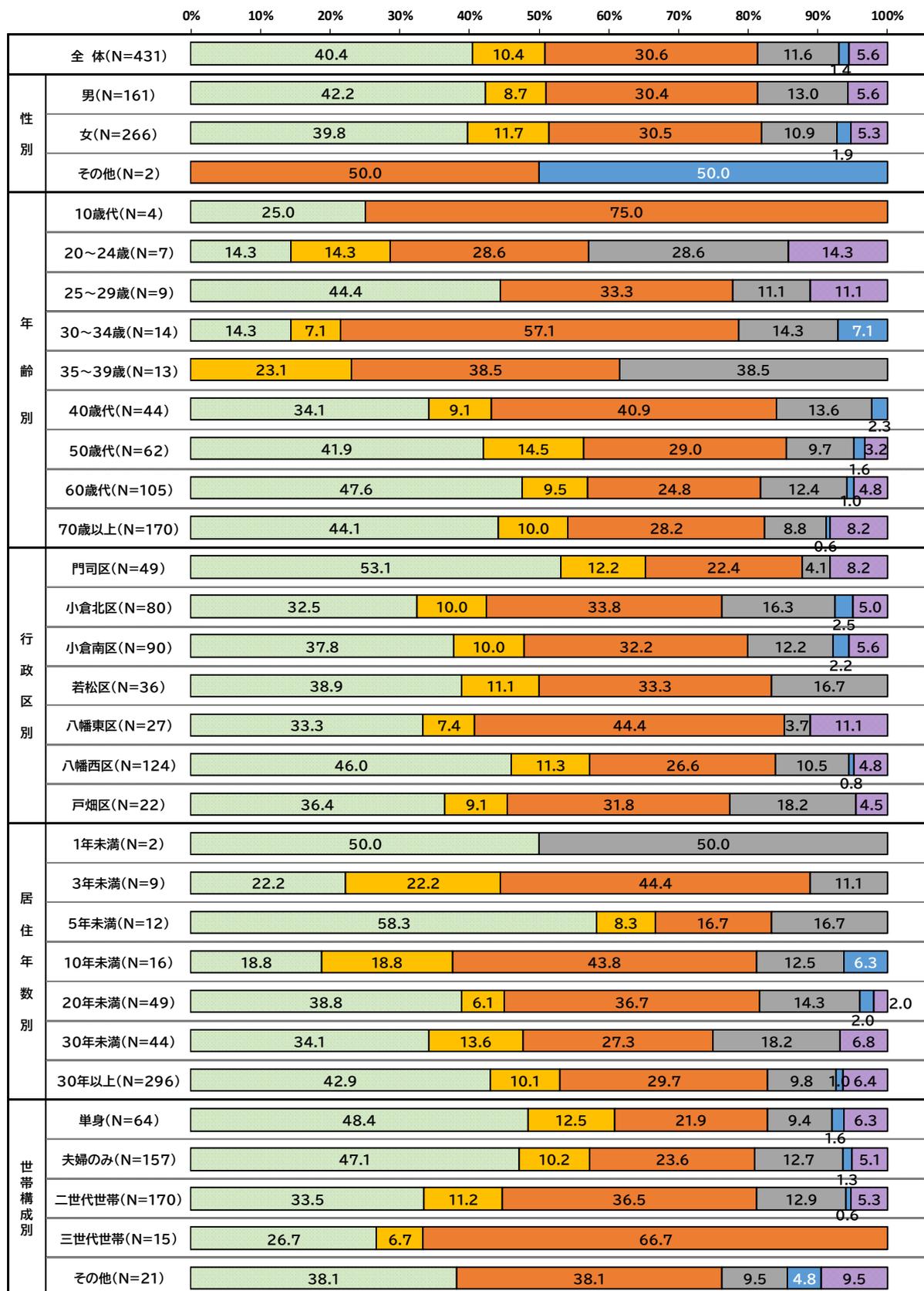
◆ 保健、医療、介護、福祉などの充実について、

1位 高齢・障害者施策の維持や充実	40.4%
2位 医療・衛生体制の充実(救急医療・感染症対策など)	30.6%
3位 健康づくり・食育・介護予防の推進	11.6%



# 問1-14 保健、医療、介護、福祉などの充実

■ 高齢・障害者施策の維持や充実
 ■ 地域の見守り・支え合いネットワークの充実
 ■ 医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）
 ■ 健康づくり・食育・介護予防の推進
 ■ その他
 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 保健、医療、介護、福祉などの充実

### 【 全体的傾向 】

保健、医療、介護、福祉などの充実（15項目中1位）の中では、「高齢・障害者施策の維持や充実」が40.4%と最も多くなっている。次いで「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」（30.6%）、「健康づくり・食育・介護予防の推進」（11.6%）、「地域の見守り・支え合いネットワークの充実」（10.4%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

#### 《年齢別にみると》

- Z世代の25～29歳では「高齢・障害者施策の維持や充実」が最も多いが、20～24歳では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」や「健康づくり・食育・介護予防の推進」の方が多くなっている。
- 30歳代・40歳代では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」、50歳代以上では「高齢・障害者施策の維持や充実」が最も多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 門司区では「高齢・障害者施策の維持や充実」が53.1%と多く、八幡東区では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」が44.4%と最も多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- 指摘できる特徴的な点は、特にみられない。

#### 《世帯構成別にみると》

- 単身、夫婦のみ世帯では「高齢・障害者施策の維持や充実」、二世帯世帯、三世帯世帯では「医療・衛生体制の充実（救急医療・感染症対策など）」が最も多くなっている。

### 【 その他の内容 】

- ・ 医療従事者の賃金 up、人員不足解消
- ・ タバコによる健康障害を防止する取り組みの強化を。
- ・ エssenシャルワーカーの方々への待遇改善→医療・介護等の質の向上につながると思います。

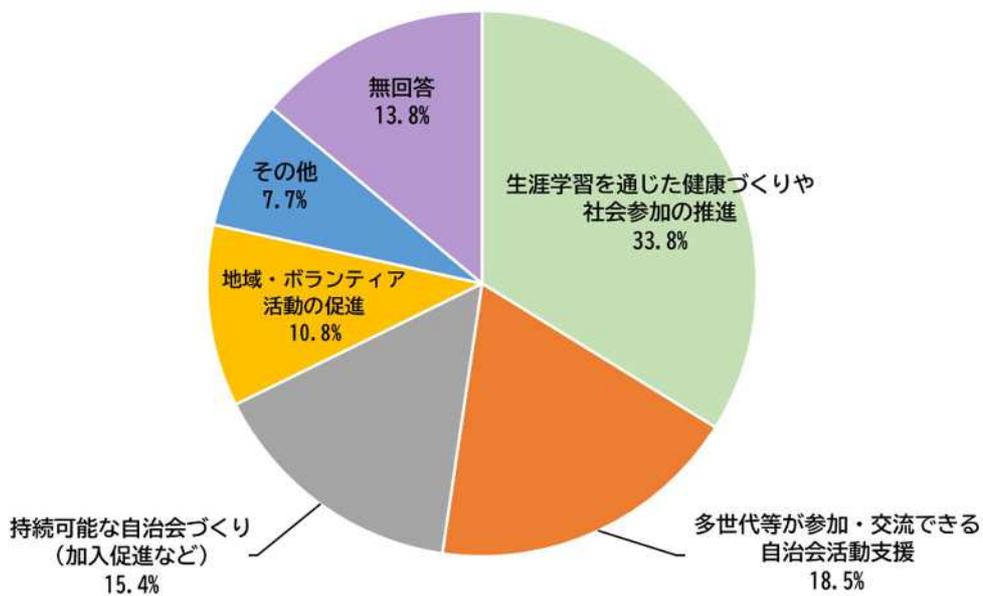
⑮ 地域コミュニティの活性化

N=65人

項目	回答数	割合
① 持続可能な自治会づくり(加入促進など)	10	15.4%
② 多世代等が参加・交流できる自治会活動支援	12	18.5%
③ 地域・ボランティア活動の促進	7	10.8%
④ 生涯学習を通じた健康づくりや社会参加の推進	22	33.8%
⑤ その他	5	7.7%
無回答	9	13.8%

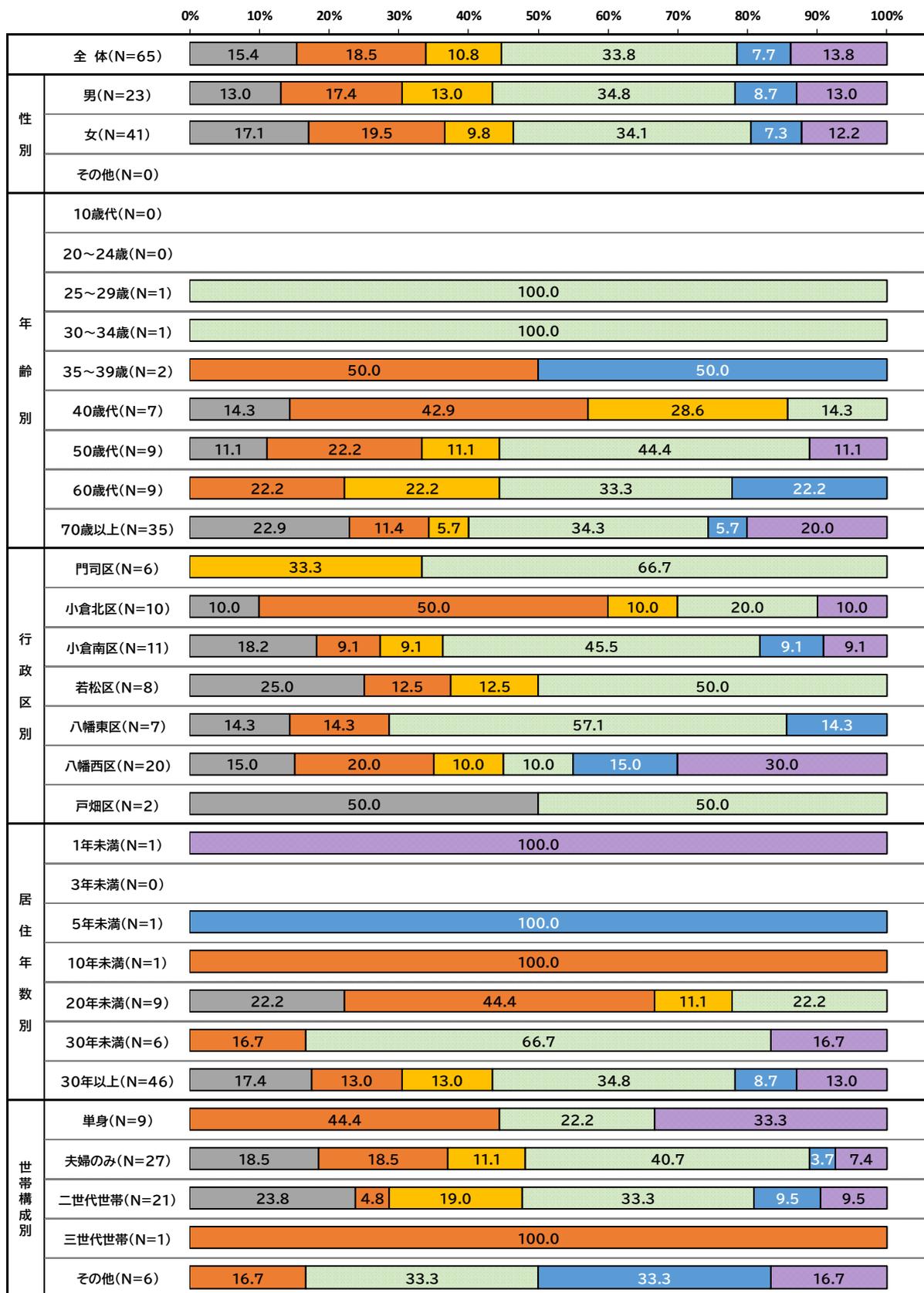
◆ 地域コミュニティの活性化について、

1位 生涯学習を通じた健康づくりや社会参加の推進	33.8%
2位 多世代等が参加・交流できる自治会活動支援	18.5%
3位 持続可能な自治会づくり(加入促進など)	15.4%



# 問1-15 地域コミュニティの活性化

■ 持続可能な自治会づくり(加入促進など)
 ■ 多世代等が参加・交流できる自治会活動支援
 ■ 地域・ボランティア活動の促進
 ■ 生涯学習を通じた健康づくりや社会参加の推進
 ■ その他
 ■ 無回答



※各属性ともサンプル数が少なく、「0.0%」が非常に多くなっていることから、図表をみやすくするため、0.0%の表示は省略している。

## 地域コミュニティの活性化

### 【 全体的傾向 】

地域コミュニティの活性化（15項目中14位）の中では、「生涯学習を通じた健康づくりや社会参加の推進」が33.8%と最も多くなっている。次いで「多世代等が参加・交流できる自治会活動支援」（18.5%）、「持続可能な自治会づくり（加入促進など）」（15.4%）、「地域・ボランティア活動の促進」（10.8%）となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 大きな差はみられない

#### 《年齢別にみると》

- 期待する施策として、地域コミュニティの活性化を選んだ人は、29歳以下のZ世代ではひとり、30～60歳代でも一桁台となっており、関心が低いことがうかがえる。こうしたことから、各年齢層での割合は分散しており、一定の傾向はみられない。
- 70歳代以上では、「生涯学習を通じた健康づくりや社会参加の推進」が最も多くなっている。

#### 《行政区別、居住年数別、世帯構成別にみると》

- サンプル数が少ないことから図表に示すのみとする。

### 【 その他の内容 】

- ・ 行政配布物(市政だより等)の配布業務を市直接の業務とする。民間配送業者の利用も。
- ・ 自治会があっても、移住してくるとよそ者扱いされるので住みづらい。自治会そのものの意識改革。
- ・ 町内会の作業のDX化を市全域で徹底し、市政だよりの紙配布のデジタル化、町内会費徴収の銀行口座引落など推し進め、実のある町内会活動を取り戻す。

### (3) 北九州市の最近のイメージについて

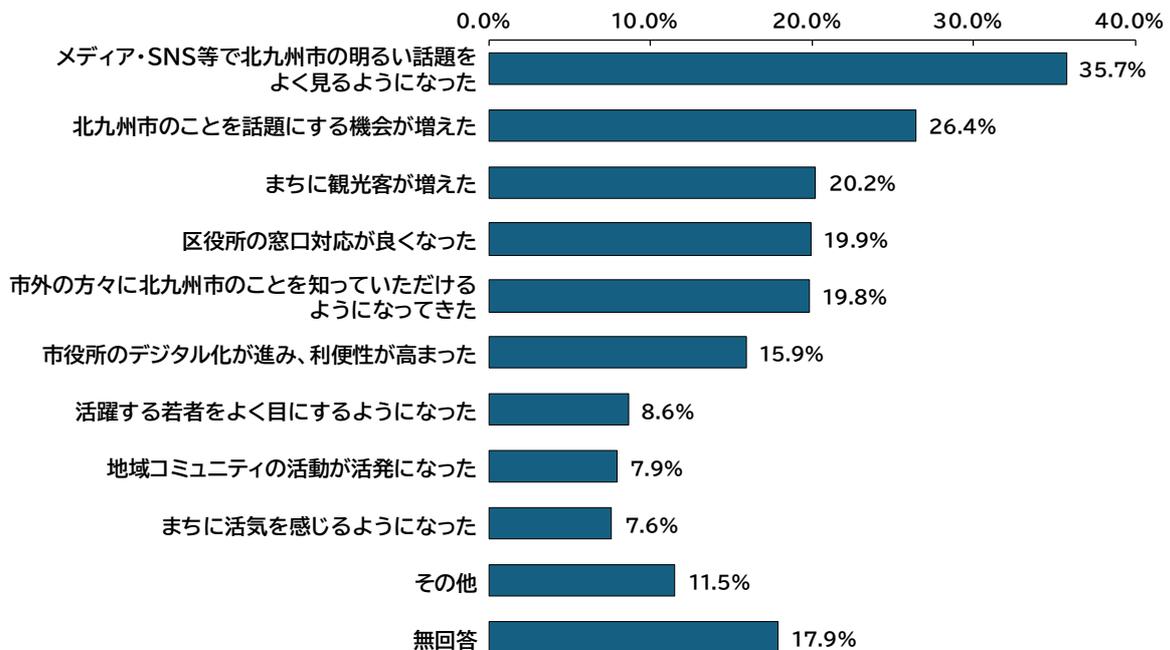
問2 北九州市の最近のイメージで、当てはまる番号を3つまで○で囲んでください。

N=845人

項目	回答数	割合
1 メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった	302	35.7%
2 北九州市のことを話題にする機会が増えた	223	26.4%
3 まちに活気を感じるようになった	64	7.6%
4 活躍する若者をよく目にするようになった	73	8.6%
5 まちに観光客が増えた	171	20.2%
6 地域コミュニティの活動が活発になった	67	7.9%
7 市役所のデジタル化が進み、利便性が高まった	134	15.9%
8 区役所の窓口対応が良くなった	168	19.9%
9 市外の方々に北九州市のことを知っていただけるようになってきた	167	19.8%
10 その他	97	11.5%
無回答	151	17.9%

#### ◆ 北九州市の最近のイメージについて

1位	メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった	35.7%
2位	北九州市のことを話題にする機会が増えた	26.4%
3位	まちに観光客が増えた	20.2%



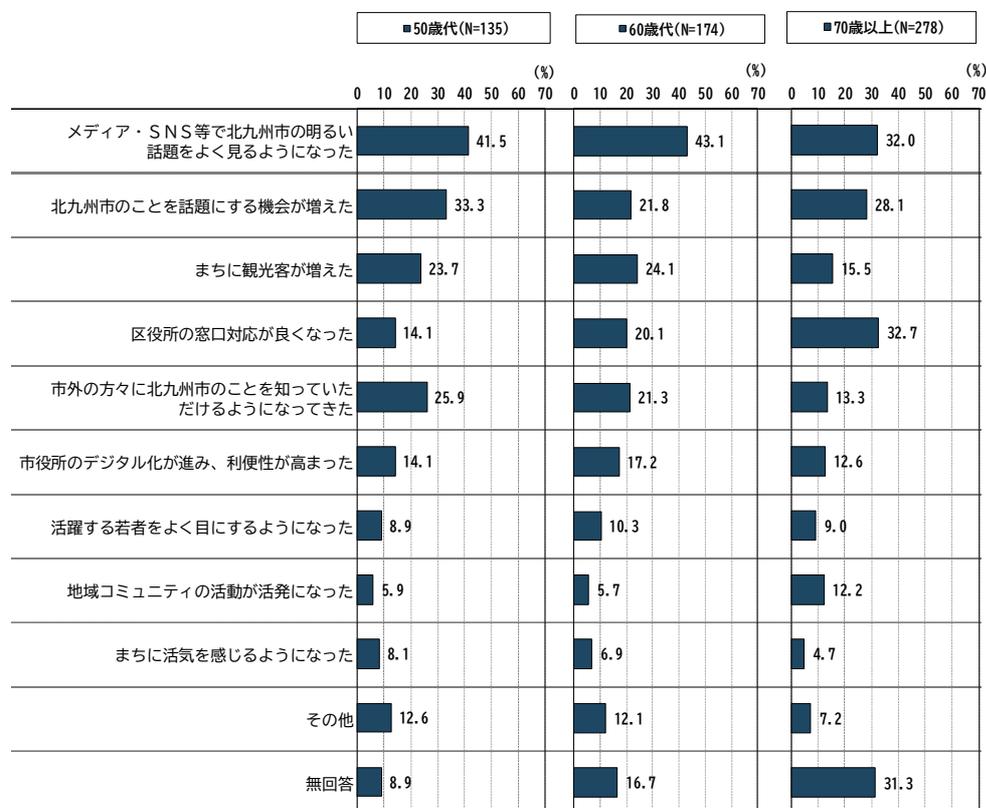
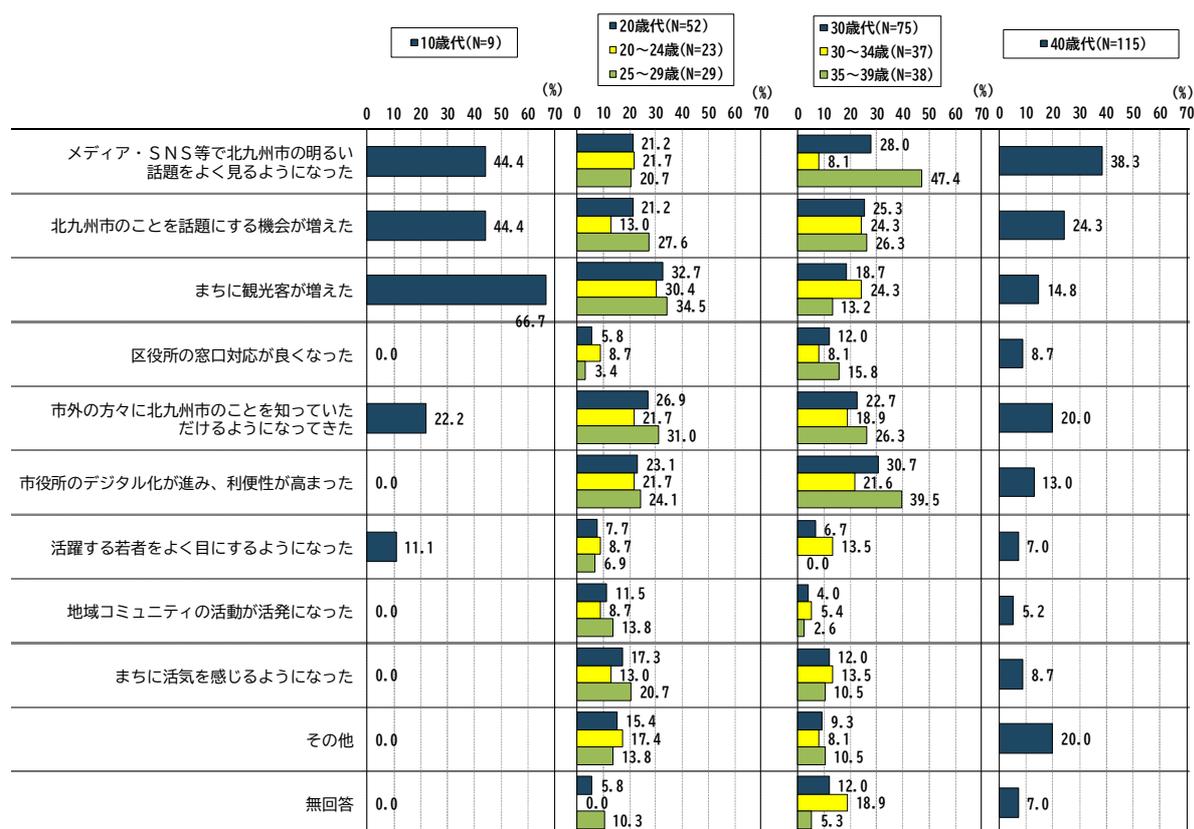
## 問2 北九州市の最近のイメージについて

(単位：%)

	サンプル数	メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった	北九州市のことを話題にする機会が増えた	まちに活気を感じるようになった	活躍する若者をよく目にするようになった	まちに観光客が増えた	地域コミュニティの活動が活発になった	市役所のデジタル化が進み、利便性が高まった	区役所の窓口対応が良くなった	市外の方々に北九州市のことを知っていただけるようになった	その他	無回答	
全体	845	35.7	26.4	7.6	8.6	20.2	7.9	15.9	19.9	19.8	11.5	17.9	
性別	男	339	38.3	26.3	7.4	6.8	17.4	10.3	18.0	23.6	18.6	13.9	15.0
	女	498	34.1	26.9	7.8	10.0	22.3	6.4	14.7	17.5	20.5	9.8	19.3
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
年齢別	10歳代	9	44.4	44.4	0.0	11.1	66.7	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
	20～24歳	23	21.7	13.0	13.0	8.7	30.4	8.7	21.7	8.7	21.7	17.4	0.0
	25～29歳	29	20.7	27.6	20.7	6.9	34.5	13.8	24.1	3.4	31.0	13.8	10.3
	30～34歳	37	8.1	24.3	13.5	13.5	24.3	5.4	21.6	8.1	18.9	8.1	18.9
	35～39歳	38	47.4	26.3	10.5	0.0	13.2	2.6	39.5	15.8	26.3	10.5	5.3
	40歳代	115	38.3	24.3	8.7	7.0	14.8	5.2	13.0	8.7	20.0	20.0	7.0
	50歳代	135	41.5	33.3	8.1	8.9	23.7	5.9	14.1	14.1	25.9	12.6	8.9
	60歳代	174	43.1	21.8	6.9	10.3	24.1	5.7	17.2	20.1	21.3	12.1	16.7
70歳以上	278	32.0	28.1	4.7	9.0	15.5	12.2	12.6	32.7	13.3	7.2	31.3	
行政区別	門司区	93	32.3	35.5	4.3	10.8	32.3	5.4	11.8	19.4	15.1	9.7	22.6
	小倉北区	155	36.8	28.4	8.4	9.0	27.1	7.7	16.1	18.1	20.6	12.3	14.2
	小倉南区	179	36.3	21.8	5.6	8.4	23.5	8.4	15.6	20.7	20.7	12.8	14.0
	若松区	70	38.6	25.7	2.9	8.6	10.0	7.1	12.9	27.1	18.6	14.3	14.3
	八幡東区	55	43.6	30.9	12.7	3.6	14.5	5.5	12.7	21.8	14.5	14.5	20.0
	八幡西区	240	31.3	22.9	10.4	8.8	12.5	8.8	20.0	19.2	20.0	10.8	22.5
	戸畑区	47	46.8	36.2	6.4	10.6	25.5	12.8	12.8	14.9	27.7	4.3	10.6
居住年数別	1年未満	7	57.1	42.9	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6
	3年未満	31	32.3	45.2	12.9	0.0	19.4	3.2	16.1	6.5	29.0	9.7	12.9
	5年未満	23	30.4	30.4	4.3	13.0	26.1	0.0	21.7	21.7	21.7	13.0	8.7
	10年未満	43	30.2	25.6	14.0	2.3	16.3	7.0	11.6	16.3	14.0	18.6	18.6
	20年未満	103	30.1	24.3	9.7	9.7	23.3	6.8	25.2	11.7	16.5	15.5	14.6
	30年未満	102	32.4	24.5	8.8	10.8	18.6	7.8	18.6	13.7	20.6	9.8	16.7
	30年以上	530	38.1	26.0	6.2	9.1	20.6	8.7	13.8	23.6	20.2	10.8	18.9
世帯構成別	単身	127	26.8	29.9	8.7	6.3	18.1	4.7	13.4	21.3	16.5	14.2	23.6
	夫婦のみ	276	37.7	21.0	4.0	9.4	23.2	11.2	15.9	23.9	18.1	8.3	21.4
	二世帯世帯	356	36.8	28.4	9.3	7.9	18.0	6.5	16.6	16.9	21.1	14.0	12.1
	三世帯世帯	35	40.0	40.0	8.6	14.3	17.1	0.0	17.1	14.3	25.7	11.4	25.7
	その他	43	39.5	25.6	14.0	14.0	30.2	14.0	16.3	20.9	18.6	4.7	16.3

(注) **太字** は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」を除く。)

## 問2 北九州市の最近のイメージについて（年齢別）



## 北九州市の最近のイメージについて

### 【 全体的傾向 】

北九州市の最近のイメージとしては、「メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった」が35.7%と最も多くなっている。次いで「北九州市のことを話題にする機会が増えた」(26.4%)、「まちに観光客が増えた」(20.2%)も「区役所の窓口対応が良くなった」(19.9%)、「市外の方々に北九州市のことを知っていただけるようになってきた」(19.8%)となっている。

### 【 属性別にみた傾向 】

#### 《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上多いものは、「区役所の窓口対応が良くなった」である。

#### 《年齢別にみると》

- 29歳以下のZ世代では「まちに観光客が増えた」、35～39歳から60歳代では「メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった」、70歳以上では「区役所の窓口対応が良くなった」が最も多くなっている。
- Z世代及び30歳代では、「市役所のデジタル化が進み、利便性が高まった」が他の年齢層に比べて多くなっている。

#### 《行政区別にみると》

- 門司区、戸畑区では、「北九州市のことを話題にする機会が増えた」や「まちに観光客が増えた」が他の行政区に比べて多くなっている。

#### 《居住年数別にみると》

- 3年未満では「北九州市のことを話題にする機会が増えた」が45.2%と多くなっている。

#### 《世帯構成別にみると》

- 指摘できる特徴的な点は、特にみられない。

### 【 その他の主な内容 】

- ・ ガラが悪いイメージが少し薄くなってきたかも。暴力団排除条例の効果？
- ・ 映画やドラマのロケ地になっている。
- ・ 子育て環境の良い評判をよく聞くようになりました。大変素晴らしい取り組みですし、このまま更に改革を推進していただくと大変嬉しく思います。
- ・ 商業施設が増えた。
- ・ 水質に関する実績には誇れるものがあり知名度が安定している。
- ・ 地球の歩き方 北九州版、良かったです。
- ・ 適度に都会、適度に田舎、街中に緑や自然があり暮らしやすい。
- ・ 八幡方面の街の活性化をニュースで見ました。また、バレーボール等の招致が素晴らしかったです。
- ・ 美術館の催しが遠方からでも人を呼ぶようないい企画が多くなったと感じます。

- ・ 武内新市長になり、北九州市を様々な分野でメディアでアピールしている場面を目にする機会が増え、好感が持てるし、更なる向上を職員の方々と一緒に努力して欲しい。
- ・ まだまだ治安の悪いイメージが多い。
- ・ 移り住んだ昭和の頃はとても活気があり、仕事もたくさんあった。どんどん寂れているのが悲しい。
- ・ 工藤会の事がテレビ・新聞報道で見なくなったので良かったと思う。
- ・ 行政サービスの縮小や公共交通の利便性の減退など悪いことばかりで、良いイメージを感じることがほとんどなくなった。
- ・ 黒崎に住む者ですが沈滞ムードがひどい。
- ・ 若者の県外流出。
- ・ 商店街の火事の件から注目を得た印象。住みやすさはあるが全体的に建物が古く、どこも老朽化が進みがちな印象。また、雇用に関しても少なく福岡市へ流出しがち。せっかくの再建の機会。ぜひとも活かして欲しい。
- ・ 商店街の人が少なくなっている。(黒崎駅前)夕方になると飲食店が賑やかになるようですね。
- ・ 小倉駅の周辺、繁華街などでは立ちん坊の数も多く、見た目悪い。道路に平気でタバコを捨ててる。他県からの観光客はあまりいい印象を持っていない。イメージの良いことは少ないと思う。もっと昼間の街と夜の街とをしっかりと把握して、街並みや通りをキレイにしていかないと、北九州市に来たいとは思わないです。
- ・ 昔からの鉄・石炭の町から大きく変わっている様には思えません。古い人から新しい人に町全体が変わるまでは難しいと思います。
- ・ 同年代の人達と話すとき活気が無いと思う。祭り(港まつり)も小倉中心なような気がする。
- ・ 北九州の人口が減り活気がなくなった。
- ・ 北九州市に住みながらも町に活気は感じないし SNS で北九州市の明るい話題も見ないし、市外の方々は北九州市のことをあまり知らないままだという印象しかありません。PR が下手だなと感じます。
- ・ 明るいイメージを持っていない。
- ・ 夜間のバイクや車のエンジン音がうるさい。飲み街が多く、キャッチや酔っ払いが多い。田舎と発展している所の格差が凄い。
- ・ 良くも悪くもこれまでとイメージが変わっていない。
- ・ 空き家高齢者が多い。
- ・ 地域によって「あそこは良い」「あそこは悪い」と、治安に対する評判が別れている印象がある。
- ・ 特になし・以前と変わらない・変化なし (29)

### 3 まとめ

#### 1 北九州市政に期待することについて

北九州市が行う取組で、「特に期待すること」としては、「保健、医療、介護、福祉などの充実」が51.0%と最も多い。次いで「住まい環境の充実」(36.0%)、「まちの魅力を高める」(32.3%)、「防災や防犯のまちづくり」(27.7%)、「子育て支援の推進」(25.0%)となっている。

年齢別にみると、29歳以下のZ世代では、「観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり」、「就業や起業の支援」、「文化芸術・スポーツの振興」、「多様性を認め合うまちづくり」などが、他の年齢層よりも多くなっている。

また、30歳代では、「子育て支援の推進」が5割を超え、60歳代以上では、「保健、医療、介護、福祉などの充実」が6割台と多くなっている。

#### 2 1で選択した取組の中で、さらに期待する内容

期待する15取組のそれぞれの中で、さらに期待する内容(トップ3)は、以下のようになり、内容が集中する取組と分散する取組がみられる。

##### 《物流ネットワークの整備》(15項目中12位：全体期待率10.7%)

- ・ 北九州空港へのアクセス強化…………… 32.2%
- ・ 北九州空港の機能強化…………… 28.9%
- ・ 道路ネットワークの整備…………… 22.2%

年齢別にみると、Z世代では、「北九州空港へのアクセス強化」と「道路ネットワークの整備」は多くなっているが、「北九州空港の機能強化」はあげられていない。

##### 《就業や起業の支援》(15項目中6位：全体期待率18.0%)

- ・ 多様な人材が働くことができる環境の整備…………… 48.7%
- ・ 若者のチャレンジへの支援…………… 26.3%
- ・ スタートアップの創出・成長…………… 12.5%

年齢別にみると、Z世代でも「多様な人材が働くことができる環境の整備」や「若者のチャレンジへの支援」が多いが、30歳代で多い「スタートアップの創出・成長」は少ない。また、「多様な人材が働くことができる環境の整備」は、50歳代以上で5割台と多くなっている。

##### 《新しい産業の振興》(15項目中8位：全体期待率14.9%)

- ・ 成長の芽となる未来産業(半導体や次世代自動車、宇宙産業など)の振興54.0%
- ・ バックアップ首都構想(首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積)の推進……………27.8%
- ・ グリーン産業(風力発電関連の総合拠点形成など)の推進…………… 9.5%

50 歳代、70 歳以上では、「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」が6割台、60 歳代では、「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」が34.5%と多くなっている。Z世代でも「成長の芽となる未来産業（半導体や次世代自動車、宇宙産業など）の振興」、「バックアップ首都構想（首都圏の本社機能等のバックアップ機能の集積）の推進」が多くなっている。

《企業の力を高める》（15 項目中 11 位：全体期待率 11.1%）

- ・ 中小企業への人材確保、事業継承などに関する支援…………… 60.6%
- ・ 企業におけるDXの推進やAI・ロボットの活用支援…………… 16.0%
- ・ 企業における健康経営（従業員の健康管理を経営課題とし改善に取り組むこと）の取組支援…………… 12.8%

《まちの魅力を高める》（15 項目中 3 位：全体期待率 32.3%）

- ・ 集客力や魅力のある商業の振興…………… 42.9%
- ・ 官民連携による「ウォークブル（居心地がよく歩きたくなる）」なまちづくり18.3%
- ・ 地域の特色を生かした美しい都市景観の形成…………… 17.6%

Z世代では「集客力や魅力のある商業の振興」、「地域の特色を生かした美しい都市景観の形成」、40 歳代では「集客力や魅力のある商業の振興」、「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」、50 歳代・60 歳代では、「官民連携による「ウォークブル（居心地がよく歩きたくなる）」なまちづくり」が多くなっている。

《住まい環境の充実》（15 項目中 2 位：全体期待率 36.0%）

- ・ シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備…………… 36.8%
- ・ 持続可能な公共交通の実現…………… 28.6%
- ・ 多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備…………… 20.7%

Z世代の25～29 歳では、「シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備」を選んだ人はひとりもない。また、Z世代を抜きにすると、年齢が低いほど「多様なライフスタイルに応える魅力的な住環境の整備」や「持続可能な公共交通の実現」、年齢が高いほど「シニア世代が心豊かな時間を過ごすことができる環境の整備」が多くなる傾向がある。

《教育環境の充実》（15 項目中 10 位：全体期待率 11.8%）

- ・ グローバル人材の育成に向けた教育の推進…………… 30.0%
- ・ 大学などの教育・研究機関の充実…………… 26.0%
- ・ その他…………… 17.0%

各年齢層とも、ひとつに集中せず、分散する傾向にあるが、20～24 歳では「魅力ある教育機関（インターナショナルスクールなど）の誘致」、25～29 歳では「理工系人材の育成に向けた教育の推進」はひとりもない。

《文化芸術・スポーツの振興》（15 項目中 9 位：全体期待率 12.2%）

- ・ プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり…………… 38.8%
- ・ 文化芸術に触れる機会の拡大…………… 28.2%
- ・ 文化芸術活動への支援…………… 15.5%

Z世代の20～24歳では「プロスポーツや国際スポーツ大会による賑わいづくり」、25～29歳、30～60歳では「多様なスポーツ活動の推進」、70歳以上では「文化芸術に触れる機会の拡大」が最も多くなっている。

《観光・エンターテインメントによるにぎわいづくり》(15項目中7位：全体比率16.1%)

- ・ 地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ…………… 53.7%
- ・ ポップカルチャー（漫画やアニメ、ゲームなど）の振興…………… 24.3%
- ・ インバウンド（訪日外国人観光）誘致の強化…………… 9.6%

Z世代、30歳代では「ポップカルチャー（漫画やアニメ、ゲームなど）の振興」、60歳代以上では「地域の歴史や自然、食などの観光資源の磨き上げ」が多くなっている。

《環境施策の充実》(15項目中13位：全体期待率9.6%)

- ・ 環境保全の取組…………… 30.9%
- ・ 省エネ、再生可能エネルギーの推進…………… 28.4%
- ・ ごみの適正処理…………… 18.5%

Z世代では「ごみの適正処理」、60歳代以下では「リサイクルの推進」に対する関心は薄くなっている。

《防災や防犯のまちづくり》(15項目中4位：全体期待率27.7%)

- ・ 犯罪のないまちづくりの推進（防犯カメラなどの防犯環境の整備）…………… 53.0%
- ・ 災害などに強いまちづくりの推進（河川の治水・浸水対策など）…………… 28.6%
- ・ 市民の防災・防火意識の向上…………… 10.7%

29歳以下のZ世代、他の年齢層を問わず、「犯罪のないまちづくりの推進（防犯カメラなどの防犯環境の整備）」が最も多くなっている。

《子育て支援の推進》(15項目中5位：全体期待率25.0%)

- ・ 安心して子どもを産み育てる環境の整備…………… 38.4%
- ・ 子育て期の切れ目のない支援…………… 36.0%
- ・ 子どもたちを社会全体で見守り育む環境づくり…………… 13.7%

Z世代、50歳代以上では、「安心して子どもを産み育てる環境の整備」が最も多くなっている。また、30歳代・40歳代では、「子育て期の切れ目のない支援」が5割を超えている。

《多様性を認め合うまちづくり》(15項目中15位：全体期待率4.4%)

- ・ 平和教育・平和啓発活動…………… 32.4%
- ・ ジェンダー平等社会の理解の促進…………… 29.7%
- ・ 外国人との共生社会の実現…………… 16.2%

期待する施策として、多様性を認め合うまちづくりを選んだ人は少なく区、まだ関心が低いことをうかがわせ、各年齢層での割合は分散しており、一定の傾向はみられない。

《保健、医療、介護、福祉などの充実》(15項目中1位：全体期待率51.0%)

- ・ 高齢・障害者施策の維持や充実…………… 40.4%
- ・ 医療・衛生体制の充実(救急医療・感染症対策など)…………… 30.6%
- ・ 健康づくり・食育・介護予防の推進…………… 11.6%

Z世代の25～29歳では「高齢・障害者施策の維持や充実」が最も多いが、20～24歳では「医療・衛生体制の充実(救急医療・感染症対策など)」や「健康づくり・食育・介護予防の推進」の方が多くなっている。また、30歳代・40歳代では「医療・衛生体制の充実(救急医療・感染症対策など)」、50歳代以上では「高齢・障害者施策の維持や充実」が最も多くなっている。

《地域コミュニティの活性化》(15項目中14位：全体期待率7.7%)

- ・ 生涯学習を通じた健康づくりや社会参加の推進…………… 33.8%
- ・ 多世代等が参加・交流できる自治会活動支援…………… 18.5%
- ・ 持続可能な自治会づくり(加入促進など)…………… 15.4%

Z世代では、期待する施策として地域コミュニティの活性化を選んだ人はひとり、30～60歳代でも一桁台の人数となっており、関心は低くなっている。なお、70歳代以上では、「生涯学習を通じた健康づくりや社会参加の推進」が最も多くなっている。

### 3 北九州市の最近のイメージ

北九州市のイメージとしては、「メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった」が35.7%と最も多い。

#### 《イメージトップ5》

- ・ メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった…………… 35.7%
- ・ 北九州市のことを話題にする機会が増えた…………… 26.4%
- ・ まちに観光客が増えた…………… 20.2%
- ・ 区役所の窓口対応が良くなった…………… 19.9%
- ・ 市外の方々に北九州市のことを知っていただけるようになってきた…………… 19.8%

Z世代では「まちに観光客が増えた」、35～39歳から60歳代では「メディア・SNS等で北九州市の明るい話題をよく見るようになった」、70歳以上では「区役所の窓口対応が良くなった」が最も多くなっている。また、Z世代及び30歳代では、「市役所のデジタル化が進み、利便性が高まった」が他の年齢層に比べて多くなっている。

